

# 災害に強い街ランク

## 所沢市が首都圏で1位に



点ではそれが強みになりました。航空記念公園に日本初の飛行場ができたのも地盤が固く、気象条件が安定していたからと言われています。

住宅情報誌「SUUMO(スーモ)」が特集した「災害に強い街」ランキング(昨年の10月27日号)で所沢市が首都圏184市区の第1位になりました。2位が和光市、3位が北本市と上位を埼玉県が独占し、話題になっています。

「心無い言葉を言われたこともある」と、まだまだ認知度が低い実情を訴えられました。県議会でも何度か取り上げられ、行政側は普及に頑張っているつもりでも、当事者からみると全然違うのだなと反省しました。実はOさんは国民的美魔女コンテ

「SDGs 先進度調査」で所沢市は環境部門で全国第1位になっています。「コロナ禍」で都心からの県内移住も増えて、所沢の人口が上がっているそうです。私たちが所沢市をますます良い街にしていきたいですね。

同誌はUNIS (Gross National Safety for Natural disasters)

「日本経済新聞社」で所沢市は環境部門で全国第1位になっています。

「SDGs 先進度調査」で所沢市は環境部門で全国第1位になっています。

スーモ「災害に強い街」1位!!



日経新聞「SDGs 先進度調査」環境部門1位!!

### 編集後記

○：昨年4月、コロナ禍の活動自粛中に開始したYouTube動画「埼玉県議会公明党オンラインニュース」はおかげさまで73回(4月7日現在)を数えるまでに。

○：このニュースは企画・原稿・撮影・編集まで党員団の手作りで毎週水曜日に配信。締め切りを前に担当議員はネタに悩み、鬼編集長(私)に何度も原稿を直されることも。

○：埼玉県の最新コロナ対策や公明党の取り組みをタイムリーかつコンパクトに伝えています。ぜひご視聴を!

# ヘルプマークを知っていますか?

ヘルプマークは外見からは分からない病気や障害のある人、妊娠初期の人が周囲の人に援助や配慮を必要としていることを知らせるものです。電車内で席を譲る、困っているようなら声をかけるなどの配慮をお願いしています。しかし、このヘルプマークの認知度がまだ低く、課題があることを利用者であるOさんという県民の方からお聞きしました。

「心無い言葉を言われたこともある」と、まだまだ認知度が低い実情を訴えられました。県議会でも何度か取り上げられ、行政側は普及に頑張っているつもりでも、当事者からみると全然違うのだなと反省しました。実はOさんは国民的美魔女コンテ

そこで、私は2月定例会の代表質問でこの問題を取り上げて、当事者目線からのヘルプマークの普及を訴え、知事から前向きな回答がありました。自分では分かったつもりでも、当事者の声を聴くことの大切さを教えられた出来事でした。

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

TEL 048-822-9606  
FAX 048-822-9408



公明党議員団ホームページ

西山じゅんじホームページ

NEW KOMEITO 公明党埼玉県議会議員

# 西山じゅんじ ニュース



Junji news No.65 Apr. No.65  
fax 04-2990-2172 e-mail komei@nishiyama-junji.com

# 収束の切り札 ワクチン接種始まる

# 党拳げて成功に全力

希望する国民全員に無料でコロナワクチンを接種する未聞の大事業が始まっています。医療従事者に続いて4月からは65歳以上の高齢者の接種がスタート。ワクチン入荷状況にもよりますが、優先接種の方に続いて、夏頃には一般の方の接種が開始できればという状況です。

希望する国民全員に無料でコロナワクチンを接種する未聞の大事業が始まっています。医療従事者に続いて4月からは65歳以上の高齢者の接種がスタート。ワクチン入荷状況にもよりますが、優先接種の方に続いて、夏頃には一般の方の接種が開始できればという状況です。

重症化の兆候をキャッチ。パルスオキシメーターを配布。コロナ重症化の兆候をいち早くキャッチできるパルスオキシメーター。指に挟むだけで簡単に血中酸素濃度を測定できる機器で、酸素を取り込む力が落ちると数値が下がります。数値が95%以下なら専門医に相談すべきと言われています。



酸素濃度チェックにゃ!!

指先で測定するにゃ!!

国では昨年4月に公明党の山口代表がこのパルスオキシメーターの活用を厚労省に強く要望。それに呼応して公明党県議団は無症状や軽症の陽性患者にパルスオキシメーターを配布する。



接種回数は2回の見込みです

市町村から案内と接種券が届く

電話やインターネットで予約

接種券と本人確認書類を持って会場へ

ご相談ください! 県の副反応専門相談窓口 0570-033-226

コロナワクチン(ファイザー社製)有効率→95%  
インフルエンザワクチン有効性→40~60%





# 2月定例県議会 西山じゅんじの代表質問ダイジェスト

3月26日に閉会した2月定例県議会で、西山じゅんじは公明党の代表質問に登壇し、大野知事や県教育長と議論を交わしました。その主な内容をダイジェストでお伝えします。

## コロナ禍が意味するものは？

Q 知事は映画「風の谷のナウシカ」を観たことがあるか。  
細谷雄一・慶応大学教授は読売新聞への寄稿で、コロナの出現を「ナウシカの世界が現実になった」と言う。人間の横暴に怒り突進するオーム(王蟲)をコロナになぞらえ、「両者は自然を守るために、これ以上人間が環境破壊を続け、汚染をまき散らすのを阻止しようとしているのか」と読み解く。そして、「重要なのは人間界と自然界の間で『バランス』を回復する視点だ」と論じている。私も同感だ。

A コロナ禍により効率至上主義や過度な都市への集中に対する反省が促された。人間界と自然界のバランスの視点は重要だ。コロナ禍で得た知見や教訓を生かし、謙虚にひたむきに持続可能な埼玉をつくることに全力を挙げる。

## CO2排出ゼロへリーダーシップを

Q 昨年の代表質問で、私は「本県も『CO2排出ゼロ宣言』をすべき」と訴えたが、知事はゼロ宣言について明確に答えず、ゼロに向けて具体的な道筋を検討すると答えた。  
そこで、私はこの一年間、県の積極的な取り組みに期待してきたが、残念ながら新年度予算には目新しい政策がなかった。国は、昨年10月に菅総理が2050年までにCO2排出をゼロにすると言明し、ますますこの問題への関心が高まっている。  
地球温暖化は人類生存の基盤を脅かす政治の最重要課題である。県民は埼玉県がこの問題について全国を引っ張る



ような政策を期待している。あらためて、CO2排出ゼロに向けて知事がリーダーシップを発揮してほしい。決意をうかがう。  
A 地球温暖化対策は「待ったなし」の課題だ。気候変動の脅威から県民を守ることは私の責任であり、県民や事業者とワンチームになって全力で取り組む。

## プラスチック依存社会からの脱却を

Q 私は一昨年、昨年の代表質問でもプラスチックごみの削減を取り上げたが、ますます問題は深刻化している。  
プラスチックは軽くて丈夫で安価なゆえに、プラごみは今や地球の表面に行き渡り、人類は地球をプラスチックとその添加物まみれにして

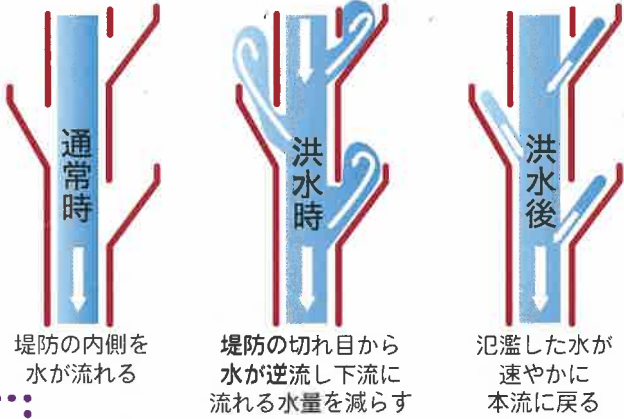


しまった。まさに現代は「プラスチック依存社会」とも言うべき状況である。自然環境と生態系に深刻な影響を与え、プラスチック依存社会から脱却しなければならぬ。  
レジ袋の有料化は意識啓発に効果があった。これに続いて、県主催のイベントで「プラごみゼロ宣言」をして、広く県民にアピールしてはどうか。また、プラスチック製品そのものを減らすことを目指して生産や販売に携わる事業者を巻き込んだ協議をするべきだ。知事の考えは？  
A 県主催イベントの「プラごみゼロ宣言」は前向きに検討する。事業者と脱プラスチックに向けた取り組みも協議していく。

## 先人の知恵に学ぶ流域治水対策を

Q 私はずっと堤防は切れないものと思ってきたが、一昨年の台風19号で越辺川などの堤防が決壊し、あらためて治水の重要性を痛感した。  
国は昨年、治水の在り方を「流域治水」に転換した。この手法は埼玉県にとって新しく古く、なじみのあるものだ。その一例として、利根川中流部(熊谷市付近)の「中条堤」と越辺川の「霞堤」を視察した。どちらも江戸の昔に首都を洪水から守るために築かれた。洪水時にあえてあふれさせる場所をつくり、下流の水量を減らす仕組みだ。重機もコンクリートもない時代の先人の知恵に敬服する。

## ～霞堤の仕組み～



五〇年、一〇〇年といった長期的な視点で治水やまちづくりを進めるべきだ。所見を。

こうして先人の知恵に学び



A 河道掘削や調節池の整備、雨水貯留施設の設置、粘り強い堤防を目指した強化など行う。中長期的にはリスクが低い地域への都市機能の誘導など、被害を減少させる対策も進める。



## 3・11を「もう一つの防災の日」に

Q まもなく3・11、東日本大震災から10年を迎える(質問日は3月2日)。3・11は私たちのものの見方を変えた。大きな災害に遭遇することを前提に人生や社会を考えるべきと。関東大震災の9月1日は防災の日としてさまざまなく組みがされているが、3・11をもう一つの防災の日として、県民参加型の実践的訓練を行うてはどうか。

また、実践的訓練として、徒歩帰宅訓練を行うべきだ。

## 暫時休憩 No.05

一般質問に二問一答

先日閉会した令和3年2月定例会から埼玉県議会の本会議一般質問に「二問一答方式」が導入されました。  
今までは質問者が30分間まとめて質問し、その後知事や執行部がまとめて答弁する方式のため分かりづらい面がありました。



2月定例会ではさつそく何人かの議員が一問一答方式で質問。登壇場所も執行部と向かい合う位置になり、質問と答弁が一問ごとなので、議論が分かりやすいと感じました。



一方、二問一答式は委員会審議と同じスタイルなので、重みに欠けるとの指摘も。  
このほかにも、議会資料のペーパーレス化も検討されています。紙の議事録をコピーしていた時代は終わりました。時代とともに県議会も変わっていきます。



6時間!! 所沢の自宅 ←←←← 都庁  
4時間!! 所沢の自宅 ←←←← 県庁



NEW KOMEITO  
**公明党埼玉県議会議員**  
**西山じゅんじ**  
**ニュース**  
 Junji news '21  
 Aug. No.66  
 fax 04-2990-2172 e-mail komei@nishiyama-junji.com

# ワクチン接種の加速化を

**公明の要望が実現**  
 公明党はコロナ収束の切り札となるワクチン接種の推進に党を挙げて取り組んでいます。公明党県議団も5月18日、大野知事にワクチン接種の加速化を求める緊急要望を行いました。その結果、県は8月から独自に集団接種会場を3か所開設することを決めました。

新たに設置されるのはウエスタ川越（川越市）、県民健康福祉村（越谷市）、熊谷文化創造館さくらめいと（熊谷市）の3か所。これに加えて、現在稼働中の県浦和合同庁舎会場（さいたま市）も8月以降の継続が決定。これで県内の集団接種会場は東西南北の4か所体制に拡大され、ワクチン接種が加速化します。

**一般のみなさん 10月から接種!**

一日の接種能力は4会場合わせて3600回!!

土日も開設するニャ!!

**埼玉県の集団接種会場 8月から4ヶ所に拡充**

接種対象として8〜9月は、介護職や教職員などは、介護職や教職員など、県民生活の維持に不可欠なエッセンシャルワーカーを優先します。

そして、ある程度エッセンシャルワーカーの接種が進めば、10、11月は一般の方も対象にしていきます。

一日の接種能力は各会場とも900回で4会場合わせて3600回。4か月間（土日も開設）フル稼働すれば約43万回の接種が可能で、予約はすべて専用の予約サイトからの受付になります。

**エッセンシャルワーカー**

たとえばこのような方々です

医療、販売、教員、葬祭、介護、受付

なお、国からのワクチン供給次第では接種開始が8月初旬から中旬にずれ込む可能性もあります。

**優先するエッセンシャルワーカー**

県が優先接種の対象と考えるエッセンシャルワーカーは以下の通りです。

《医療分野》柔道整復師、針灸師、あん摩・マッサージ・指圧師など。

《国民生活・経済安定分野》①社会保険・福祉・介護事業者②医薬品の製造・販売・流通に係る業種③生活インフラに係る業種として交通、電気・ガス・上下水道、通信、運送、金融、郵便、放送など④生活必需品に係る業種として飲料品や生活必需品の製造・販売、燃料の供給⑤生活関連サービス業として火葬・墓地管理、廃棄物処理、理美容、冠婚葬祭。

《公共サービス分野》①検体解析業務、児童相談所など保護施設②裁判所、刑務所、消防など③小中高の教職員、保育士、幼稚園教諭、学童保育、学習塾など。

接種会場 増やしました!

# ところろワゴン乗車体験記

## 三ヶ島地区でモデル運行

	おとな	子ども
一般 (乗車1回)	200円	100円
一日乗車券	500円	200円

- ◆1時間に1本運行
- ◆周回約40分
- ◆若狭・三ヶ島ルート
- ◆林・糎谷ルート



小型車両を活用した「ところろワゴン」のモデル運行が三ヶ島地区で始まりました。従来の「ところろバス」は航空公園駅発着の長いコースと少ない本数で実用性に課題がありました。新たな「ところろワゴン」は、狭山ヶ丘駅を起点に二つの路線が三ヶ島地区を約40分間で周回します。高齢社会の「新たな足」として期待大で、私も5月下旬に早速乗ってみました。

### アットホームな車内!?

まずは、13時10分発の「若狭・三ヶ島ルート」に起点の狭山ヶ丘駅から乗車。車両はハイエースクラスのワゴンで濃いグリーンの塗装が目印です。ドライバーは運行委託先の西部ハイヤーの運転手さん。車体左側のスライドドアから乗り込んで、乗車料金200円を支払います（子どもと65歳以上は100円。障害者等は無料）。席は1列3人がけなのでやや狭いという印象。一番後ろは車いす用です。乗客は私一人が発発。途中1人、2人と乗り込んできて、若狭4丁目のバス停では6人になり、車いす席と助手席を除いていっぱい。乗客の大半は高齢の方で、買い物帰りなのが結構な荷物の人もありました。乗降の合図はボタンでもできますが、すぐ前に運転手さんがいますので、直接の声掛けもできて、かえってアットホームな雰囲気も感じます。

### 便利ニャ



やがて一人、二人と下車して三ヶ島まちづくりセンターへ。ここでももう一つの路線「林・糎谷ルート」のワゴンと待ち合わせした後に、狭山ヶ丘駅へと帰りました。

続いて、もう一つの「林・糎谷ルート」にも乗車。こちらは乗客が最高3人と空いています。

### 小回りで、実用性アップ

実際に乗車した率直な感想は「いいんじゃない!」です。駅を基点にした一周40分のコースで1時間に1本、1日12本の運行は実用的です。自家用車のない方の「駅に出たい」「病院やまちづくりセンターに行きたい」というニーズにある程度応えられます。また、満員で乗れない時は、すぐに臨時便が駆けつけるバックアップ体制もあります。



車がなくても暮らせる街に

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

TEL 048-822-9606  
 FAX 048-822-9408



公明党議員団ホームページ



西山じゅんじホームページ

### 編集後記 地域猫・マル

○：飼いのいない猫を避妊去勢して地域で面倒を見る「地域猫活動」。県も補助金を交付し、多くの方々が協力してくれています。

○：我が家にもマルと名付けた地域猫が入りしています。耳カットされたサビ柄のメス猫でとても賢い子猫です。出来れば家ネコにしたいのですが、白血病が陽性でニャン吉やミミと一緒に出来ません。

○：夜、帰宅すると門の上にシーサーのようにマルが待っていて、玄関を開けると当然のように一緒に家の中に。毎晩、我が家の玄関に泊まっています…。



ウチに泊まっているように会えないニャ!?

マル



# コロナ専用病棟を建設

## 公明の連携プレーで支援

埼玉県は新型コロナウイルスの感染拡大に備え、仮設（プレハブ）の専用医療施設の整備に取り組み、今年3月末までに民間の8医療機関に176床が建設されました。この仮設病棟の建設には、小さなドラマともいふべき、公明党の取り組みがありました。

昨年12月、厚労省はコロナ病床を増やすために、新たな病床を設けた医療機関へ1床あたり重症者用は1950万

円、その他は950万円を補助する緊急支援を打ち出しました。その申請要件は今年2月末に患者の受け入れ可能な病床とされました。

しかし、埼玉県内で仮設専用病棟の整備を進めていた6施設の135床については、完成予定が3月中で、どんなに工事を急いでも申請期限の2月末には間に合わず、補助対象外でした。

そこで、公明党の深谷顕史



県議が矢倉かつお参議院議員と連携。矢倉氏が国会でこの問題を取り上げた結果、厚労省は一転して3月中に完成する仮設専用病棟も補助対象に加えられました。当初、補助対象外だった医療機関から公明党の取り組みに絶大な感謝の声が寄せられています。

## 自宅療養者への医療体制

### 公明の提言でさらに強化

新型コロナウイルスに感染しても自宅療養する方が増えています。しかし、医師の診察がない自宅療養に不安だとの声も多くありました。

そこで公明党県議団は1月下旬に、自宅療養者に対する医療提供体制の強化を大野知事に要望。その結果、7月か

ら県は体制を強化しました。

まず、「無症状かつリスク要因のない方」は、新たに設置した「宿泊・自宅療養者支援センター」が1日2回、電話やアプリで健康観察を行います。これで保健所の負担が減ります。

「軽症またはリスク要因の

## プラごみゼロに向け 県が「率先実行」!

プラスチックはあまりにも便利で安価なため、人類は地球をプラスチックまみれにしてしまいました。自然環境と生態系に深刻な影響を与えるプラスチック依存社会「から脱却しなければなりません。私はこれまで本会議質問などでプラごみ削減を強く訴えてきましたが、県は5月下旬に「埼玉県プラごみゼロアクション」を発表しました。

アクションの第一は、「県率先実行」です。県主催の会議やイベントなどで「プラごみゼロ」を目指します。原則、使い捨てプラスチックは使用せず、やむを得ずプラスチックを使用した場合はきちんと分別します。



第二は、「産官民が連携したプラットフォーム」の設置です。県が音頭を取って企業や消費者団体、市町村が連携する場を作り、プラスチックの循環利用や脱プラに向けた連携を促進します。

第三は、「ごみを減らすライフスタイル」の実践です。県民の皆様は、引き続きマイバッグやマイボトルの利用ごみの分別を呼び掛けていきます。

レジ袋有料化は意識啓発に大きく役立ちました。さらに一人ひとりができることを実践し、次世代へより良い地球環境を引き継いでいきたいと思います。



## 臨時会

### 暫時休憩 No.06

今年度は過去最多に

地方議会には年4回の定例会のほか「臨時会」があります。急を要する補正予算などを審議するため、朝一番で議案（予算案）が提出され、提案説明、委員会質疑、委員長報告、討論・採決と一日で決着をつけます。

コロナ禍の令和3年度の埼玉県議会は臨時会が相次ぎ、

## 小さな声もカタチに

### 理美容も優先接種に

県の集団接種会場で優先接種するエッセンシャルワーカーに「理美容」が追加されました。県民から「パーマは約2時間もかかる。理美容業も入れてほしい」との声を受けて西山じゅんじが県に働きかけ、実現しました。

### 子育てチケットの申請期限を延長!

埼玉県は第3子以降の子どもが生まれた世帯に5万円分のチケットを交付する「3

キユー子育てチケット制度」を行っています。従来は申請が年度内（翌年3月まで）となっていたので、12月生まれの家庭だと申請期間が3か月と短く、申請漏れする場合もあるとの意見が公明党県議団に。県に改善を申し入れ、12月生まれでも申請期限が翌年6月までと延長されました。



## プラチナ・サポート ショップが開始

埼玉県は高齢者のイキイキとした暮らしを支えるお店「プラチナ・サポート・ショップ」登録制度を6月から創設しました。

例えば買い物支援として、重いものを届けてくれたり、近所へ移動販売車が来てくれる。理美容やマッサージなどで送迎や出張サービスをしてくれる。設備や施設をバリアフリーにし、多目的トイレや休憩スペースを提供してくれる。ほかに、たまり場や趣味の講座、防犯・見守りなど、高齢者の暮らしを支えるサービスを登録しているお店を「プラチナ・サポート・ショップ」として登録して、利用者に分かるようにステッカーを張ってもらいます。

制度開始一か月で県内の登録店舗数は3000件ほど。引き続き協力店舗を募集中です。

店舗検索はPCやスマホで「プラチナ・サポート

### 配達サポート



### 多目的トイレサポート



みなさんの暮らしを支えるサービスを登録しているショップです!

### 送迎サポート



### 学び・趣味サポート



## 「生理の貧困」に 県が迅速な支援

経済的な理由で生理用品を用意することが困難な「生理の貧困」がコロナ禍で浮き彫りになりました。

公明党の西田実仁参議院議員は6月3日、県内選出国会議員と大野知事のオンライン会議で「生理の貧困」への対応を強く求めました。これを受けて6月14日、公明党県議団は大野知事に具体的な要望書を提出。そのすべての内容が盛り込まれた県の支援策が6月16日に発表されました。

県の具体的な支援策は、①すべての県立学校のトイレに無償の整理用品を配備（各校1000個程度）②生理用品をフードパントリーなどの支援団体を通して困窮世帯に配布③町村部に県が設置している自立相談窓口や社会福祉協議会に生理用品を配備④県の災害備蓄品（生理用品18・5万個）を市町村に提供——などです。

国と県の公明議員の連携により迅速な支援が実現しました。

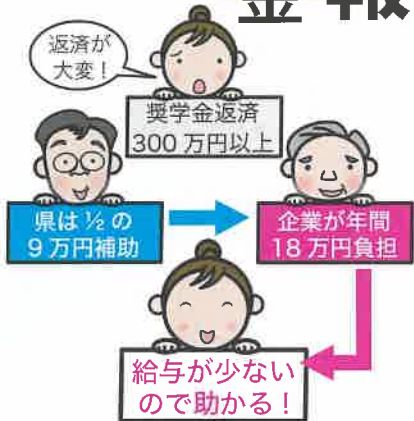


# 奨学金の返済に朗報

## 返済支援の企業に補助金

現在、多くの学生がローンの奨学金を利用していますが、その額は平均で約324万円との調査もあり、就職後の返済が大きな負担になっています。そこで、埼玉県は新年度から中小企業の人材確保と定着のために、就職した学生の奨学金の返済を支援する新たな制度を始めることになりました。

県内の中小企業等（NPOや個人事業も含む）が、勤務する奨学金返済中の正社員（中途採用含む）に奨学金返済のために手当て支給や代理返済をした場合、企業負担額の2分の1（上限1人当たり年9万円）を県が補助するという仕組みです。さ



らに県の「多様な働き方認定企業」については企業負担額の3分の2（上限1人当たり年12万円）を県が補助します。補助期間

間は一人につき最大6年間。企業が年間18万円を負担してくれば、県は半分の9万円を企業に補助。仮に年20万円の返済なら本人負担は2万円で済みます。

就職したばかりで給与がまだ少ない若者にとってありがたい支援です。また、この制度を導入した企業は若者を大事にする企業として魅力がアップするでしょう。若者を応援する県議会公明党の提案が実現しました。

### 編集後記 ドライフラワーショップ

○：3ページで紹介した障害者就労支援施設のきぼう工房はドライフラワーの製造・販売を行っています。市内の作業所では利用者が一生懸命にドライフラワーのミニブーケを作っていました。根気のいる作業です。○：出来上がった製品は川越の蔵造りの街並みの一角にあるカフェ併設のドライフラワー専門店「ユヌブリーズ」で販売中です。機会があれば、ぜひ！

公明党は国・地方を挙げて教育の無償化に取り組んできました。その結果、埼玉県の県内私立高校に通う生徒の授業料は年収720万円の世帯まで実質無償化されています（国の就学支援金に県が上乗せする2階建て方式で授業料相当額の37万8千円を補助）。

## 県外私立高校に通う生徒にも県は授業料の支援を

一方で、埼玉県外の私立高校に通う生徒に対しては、国の就学支援金のみで県の上乗せ補助がなく、保護者からは「同じ県民なのに不公平だ」との声が寄せられてきました。

私が指摘したのですが、所得制限を年収720万円まで引き上げる際に要した県負担額は予算計上額より約9億円も少なく済んでいました。予算上は余裕があったということです。

こうした経緯を踏まえ、公明党は昨年11月末に大野知事に対して、県外私学に通う生徒への支援を導入することを強く要望しました。しかし、県は「支援はあくまで県内私学振興のため」という建前を崩さず、令和4年度での導入は見送ら



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

TEL 048-822-9606  
FAX 048-822-9408

公明党議員団 ホームページ  
西山じゅんじ ホームページ

ユヌブリーズ 049(299) 7152

NEW KOMEITO 公明党埼玉県議会議員

西山じゅんじ ニュース

Junji news Apr. No.67

fax 04-2990-2172 e-mail komei@nishiyama-junji.com

# 「コロナ」を時代転換の契機に

## 持続可能な社会目指し 一人ひとりができることを

世界を襲ったコロナパンデミックは丸2年を過ぎてもいまだ収束していません。私はかねてから、コロナ出現の意味は、自らの欲望のままに自然を壊し続けてきた人類に対する警告であると考えてきました。私たちは、本当にこのままでよいのでしょうか。先の2月定例県議会代表質問の冒頭でも、私はこの問題意識から発言をしました。



待ち受ける「破局」このコロナの警告を無視し続けた時、その先に待っているのは何でしょう。それは「人類の破局」という可能性が高い。これは私が勝手に言っているのではありません。人類の第一級の知性が繰り返し訴えてきた警告です。

今、私たち一人ひとりがやるべきこと、できることは何かを考え、実践しましょう。大げさでなく、私たちの世代に人類と地球の未来はかかっています。

SDGsも2030年の達成が目標だニャ!!

この10年が分岐点

残された時間はそんなに長くはありません。この2020年代の10年間にいかなる方向付けができるかで30年後、50年後の姿は決まります。その意味で私は、この10年間は人類の分岐点となる極めて重要な10年間であると考えています。



# 西山じゅんじ県議会代表質問ダイジェスト

先の2月定例会で西山じゅんじは公明党の代表質問に登壇しました。その主な内容をダイジェストで紹介します  
(Aは特に記載のないものは知事答弁。質問・答弁の詳細と録画を埼玉県議会ホームページでご覧になれます)。

## オール県庁で温暖化対策に取り組み

**Q** 国は昨年、2050年までにCO2排出を実質ゼロにする、いわゆるカーボンニュートラル宣言をした。本県も宣言実施を含め、知事が先頭に立って温暖化対策に取り組み。  
**A** 宣言実施も視野に入れたら、県の温暖化対策実行計画の見直しを進める。私が事業者や県民の先頭に立ってその重要性をアピールしていく。

**Q** 本県は今後、温暖化対策にオール県庁で取り組むべき。それには、あらゆる部局があらゆる政策立案、事業執行の段階で温暖化対策という「横グシ」を通すべきだ。また、本県の2030年の温室効果ガス削減の目標は国と同じ46%以上(2013年比)でよいか。  
**A** 温暖化対策は全庁の課題であり、すべての部署で取り組むよう指示した。県の新たな目標は46%以上にしたい。

**Q** 省エネも極めて重要。どう取り組むのか。  
**A** 中小企業対象とする従来の省エネ診断や補助、融資制度に



加え、脱炭素化に取り組む事業者を重点的に支援する補助制度を拡充する。  
**Q** 県の温室効果ガス排出の6割を占める下水道事業と2割を占める水道事業の役割と責任は重い。削減にどう取り組むのか。  
**A** (下水道事業管理者) 設備更新時に省エネに優れた機器を導入するほか、汚泥焼却量を半分にする最新の消化施設や発電可能な汚泥焼却炉を増やしていく。下水道局を挙げて取り組んでいく。

## 自宅療養の支援

**Q** オミクロン株の特性により、自宅療養者の数が爆発的に増えた。このため、従来は電話だった保健所からのファーストタッチ(連絡)が電話からメールに変更されたが、患者や家族から不安の声が上がった。変更

## 教員の長時間残業

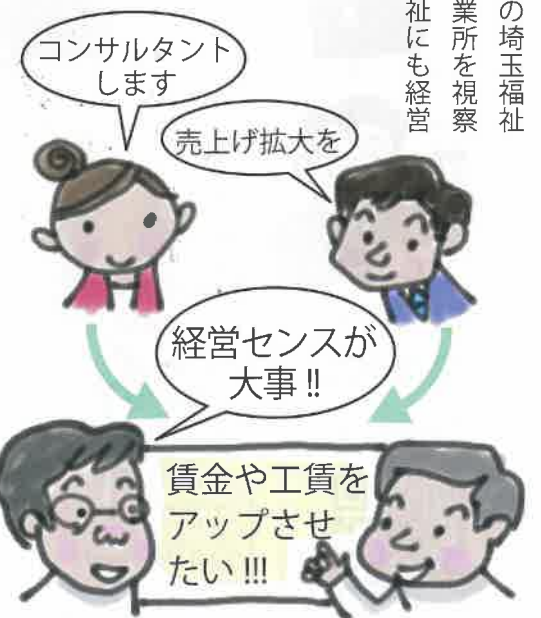
**Q** 教員の長時間残業は大きな問題だ。心を病む教員が増え、採用試験の倍率も低下している。公明党は教員の補助をするサポートスタッフや部活指導の負担軽減など、教員の働き方改革を推進してきたが、どの程度進んだか。  
**A** (教育長) 教員の多忙化は危機的状況にある。様々取り組んできたが、いまだに残業が年360時間を超えた教員が57%いる大変厳しい状況だ。今後は学校行事をゼロベースで見直し、小中学校は部活動の朝練も見直す。3年後の目標達成へ向け、粘り強く取り組む。



また、残業を月45時間、年360時間以内に抑える目標の達成には、県教育委員会が悪者になるくらいの覚悟で発信すべきだ。

## 障害者の就労

**Q** 障害者の働き方として、一般雇用ではなく、障害者就労支援事業所がある。私は所沢市のきぼう工房と志木市の埼玉福祉会という2か所の事業所を視察した。両者とも「福祉にも経営感覚を」と頑張っていた。賃金や工賃の上昇には、とても大事な視点だが、県としてどう取り組むのか。  
**A** 経営コンサルタントによる研修会や、事業所へのアドバイザー派遣を充実させる。また、成功事例集をまとめ、多くの事業所に周知していく。



## 訪問看護の安全

**Q** 1月27日にふじみ野市内の住宅で医師が散弾銃で殺害される事件が発生した。犯人の男は亡くなった母親の在宅医療に不満を持ち、犯行に及んだ。介護事業者にも「線香をあげに来い」と求めていた。  
**A** 訪問看護師や訪問ヘルパーの多くは女性であり、ほとんどの場合、一人で利用者宅を訪ねる。以前から利用者や同居家族からのセクハラ・パワハラが問題視され、私も3年前の代表質問で取り上げている。この事件を契機に訪問医療や訪問介護の安全対策をしっかりと検討し、早急に実施していくべきだ。



**Q** 公明党が推進した県と市町村の連携で自宅療養者にいち早くパルスオキシメーターや食料品などの支援物資を届ける仕組みはうまく機能しているか。  
**A** 患者情報を県と市町村が共有し、県が食料品、市町村がパルスオキシメーターを配送している。新規陽性者が急増した2月上旬から一時的に県からの食料品の配送が遅れた。市町村も配食サービスを行っているので、連携して迅速な支援を行っていく。

**Q** 公明党が推進した県と市町村の連携で自宅療養者にいち早くパルスオキシメーターや食料品などの支援物資を届ける仕組みはうまく機能しているか。  
**A** 患者情報を県と市町村が共有し、県が食料品、市町村がパルスオキシメーターを配送している。新規陽性者が急増した2月上旬から一時的に県からの食料品の配送が遅れた。市町村も配食サービスを行っているので、連携して迅速な支援を行っていく。



1月31日付埼玉新聞一面に掲載された大谷貴子さん(日本骨髄バンク評議員)の寄稿「尿漏れパッドはどこへ」は出色の記事でした。  
男性は前立腺がんや膀胱がんの手術後に排尿のコントロールが一時的に出なくなる人が多く、尿漏れパッドが必需品になるが、その捨て場所に困っているのです。男性トイレの個室にはサニタリーボックスがほとんどないため、多くの利用者は多量の水分を含んだパッドを仕方なく持ち帰っているそうです。  
私は重要な指摘と直感し、先日の代表質問でこの問題を取り上げました。

## 尿漏れパッドはどこへ

まずは県庁など県有施設の男性トイレの個室にサニタリーボックスを設置し、県庁以外の公共施設や多数の人が利用する施設にも設置されるよう県から働きかけるべきと訴えました。  
大野知事は、県有施設は男性トイレの個室のうち一つはボックスを設置し、表示などで設置がわかるようにしていく——と早速対応する考えを示しました。大谷さんの提言を受け、尿漏れパッド問題を一歩前進させることができました。



## 暫時休憩

No.07

### ペーパーレス化

埼玉県議会はペーパーレス化に取り組んでいます。これまで議員全員に配布される議案などの紙資料は相当な分量で、毎議会ごとに廃棄される紙の量も膨大でした。そこで、昨年4月から、電子化された資料をネット上で閲覧する方式が試行されています。今年3月までは紙資料



も同時に配布されていますが、いよいよ新年度の4月からは紙資料の同時配布はかたや減る方向へ。  
アナログ派の私は付いていけないか少し不安です……。



# 令和3年度県予算に反映された「はぎわら一寿・公明党」の提案や要望など

## 新型コロナウイルス感染症対策 (保健医療部)

新型コロナウイルス感染症に関する医療体制の強化、検査体制・軽症者等療養体制の確保、クラスター対策の推進、感染者のフォローアップ、県民相談の実施やワクチンの副反応等の専門相談窓口の設置、医療従事者等のワクチン予約サイトの構築、妊婦を対象としたウイルス検査を実施します。(1,001億円)



## 認知症対策の推進

認知症の本人による「希望大使」の設置、認知症の早期発見のための検診を実施する市町村への助成、地域の認知症医療の中核を担う認知症疾患医療センターの運営を委託します。認知症に関わる正しい知識と普及啓発により、認知症の人とその家族や認知症介護に対する支援を広げるための「チームオレンジ」を構築します。(1.1億円)



## 感染防止対策に関する介護施設への支援

介護サービス事業所、障害福祉サービス等事業所のサービス継続、介護施設等の多床室の個室化、簡易陰圧装置、換気設備、ソーニング環境等の整備の支援を実施します。(18.9億円)

## 私立学校における教育負担軽減のための助成

私立学校に通う園児、児童・生徒のいる世帯が一定の要件を満たした場合に授業料を助成します。(228.5億円)



## 激甚化する降雨への対応

河道の拡幅や調節地の整備など流域治水を推進。超過洪水に対応するため、役立つ情報の配信、防災減災に資する水害リスク情報の充実、排水機場の耐水化・耐震化を実施します。(120.4億円)



## 不妊治療への支援

不妊治療に係る負担を軽減するために、特定不妊治療(体外受精・顕微授精)や男性不妊治療に対して助成します。(25.3億円)



## 幅広い世代の就業支援と中小企業の人材確保

「埼玉しごとセンター(仮称)」において県の就職相談とハローワークの職業紹介から若者からシニアまでの幅広い就業支援を実施します。さらに企業人材サポートデスクによる相談対応や面接会等の実施し、地域の雇用需要に対応した出張面接会の開催、オンラインによる就業支援サービスを実施します。(2.1億円)

## 駅転落防止対策の促進

駅ホームドア:東武伊勢崎線(谷塚~越谷6駅)、埼玉高速鉄道(東川口~川口元郷6駅の8両編成列車運行に伴うホームドアの増設)及び内方線付き点状ブロックの整備促進、声掛け・サポートの取り組み支援を行います。(1.6億円)

## 特別支援学校の通学環境の充実

新型コロナウイルス感染症対策のためのスクールバスの運行、肢体不自由特別支援学校の通学負担軽減のための増便を実施します。(6.4億円)

**はぎわら一寿 プロフィール**

- 昭和41年8月千葉県船橋市生まれ
- 昭和60年3月習志野高校卒業
- 平成2年3月創価大学経済学部卒業
- 平成19年4月川口市議会議員選挙当選
- 平成23年4月埼玉県議会議員選挙初当選

●平成31年4月埼玉県議会議員選挙当選[現3期]

●党役職 ●公明党埼玉県本部幹事  
川口総支部 総支部長

●所属委員会 ●県土都市整備常任・副委員長  
議会運営委員  
自然再生・循環社会対策特別委員

●YouTube  
埼玉県議会公明党  
オンラインニュース  
をはじめました。  
ぜひご覧ください。

埼玉県議会議員 **かずひさ** 県議会ニュース NEWS vol.34

**はぎわら一寿**

はぎわら かずひさ 検索

フェイスブックやっています  
ツイッターをはじめました

発行:埼玉県議会公明党議員団  
TEL 048-822-9606  
FAX 048-822-9408

萩原 一寿  
川口市安行慈林482-42  
TEL&FAX 048-271-9616

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

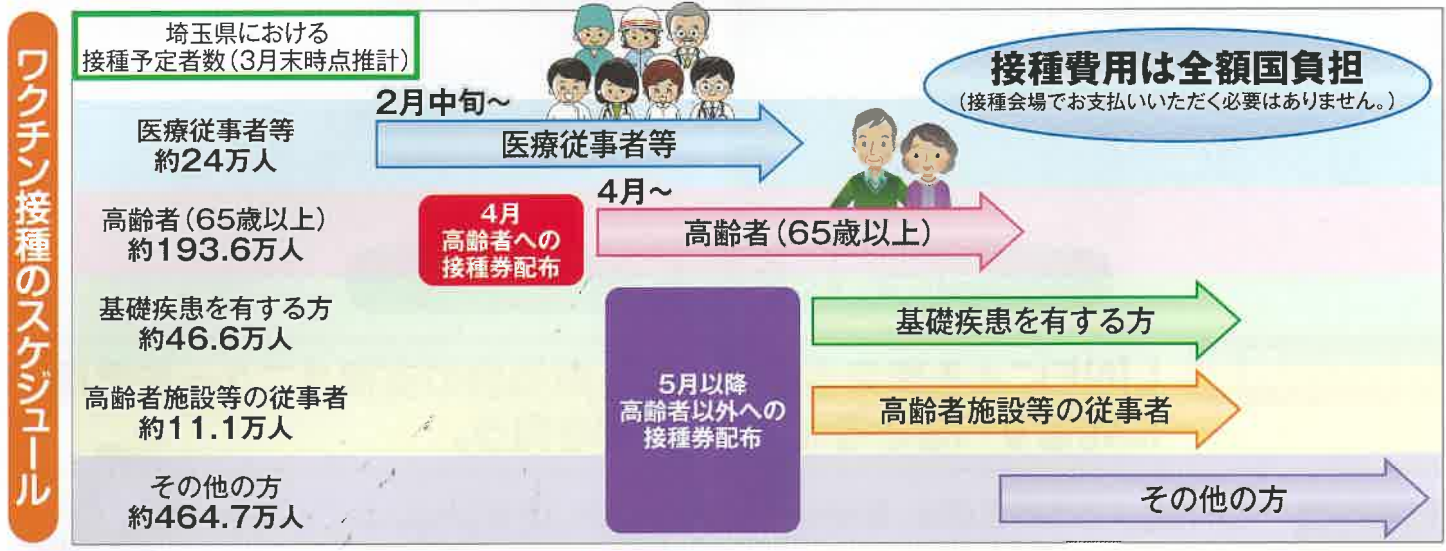


ごあいさつ

皆様のご支援、ご声援に心から感謝申し上げます。埼玉県議会2月定例会が行われ、令和3年度一般会計予算2兆1,393億6,522万円、新型コロナウイルス対策などの補正予算195億2,222万円等の諸議案が可決。新型コロナの収束はもとより、どこまでも県民の生命と生活を守るために全力を尽くしてまいります。

埼玉県議会議員 萩原 一寿

# 新型コロナウイルスの早期収束へ!! ワクチンの円滑な接種など対策に全力!



**新型コロナウイルスワクチン接種副反応に関する専門相談窓口**

埼玉県は副反応等に関する相談に対応するため、専門相談窓口を開設。看護師や医師らが24時間体制で相談に対応します。接種券や接種方法はお住いの市町村に問い合わせを。

☎0570-033-226 (ナビダイヤル)

**公明党県議団が推進してきた新型コロナ対策**

- 新型コロナ専用病床の拡充(令和2年10月末:1,005床→令和3年3月末:1,509床)
- 自宅療養者全員にパルスオキシメーターを配布
- 介護施設のPCR検査を優先的に実施
- 内定を取り消された方などを対象に県が臨時雇用で61人を採用
- 小中学校の子ども1人1台分のパソコンなど端末配備に向け市町村支援を推進

**変異株について**

変異株は、これまでのウイルスよりも感染力が強いと言われています。現在、その対策として県衛生研究所では、新型コロナの陽性が確認された検体について変異株を判定するPCR検査を実施。変異株が疑われる場合、感染源や接触者に対する追跡調査を行なっています。さらに変異株の感染者は原則入院とし、その方々に対する退院基準は、従来株の新型コロナ感染者よりも厳しい基準に設定。私たちが心がける対策として、3密の回避、マスクの着用、手洗いなど、基本の予防策を徹底しましょう。



# はぎわら県議が県議会2月定例会の一般質問に登壇!! 県民のため 県政の課題に切り込む!



## 県内企業の融資返済・県税猶予支援を!

はぎわら県議は、新型コロナウイルスの影響を受けた企業支援で、金融機関の融資返済の据え置き期間延長や、県税納税猶予の「特例制度」などについて知事の対応を問いました。



秋原 一寿氏 (公明、川口市)  
【質問】新型コロナウイルス対策の企業支援で、無利子などの融資の据え置き期間が1年間の場合、返済の時期に入るが、支援をどう進めるか。コロナ禍前に受けた金融機関のプロパー融資などについても、条件変更を望む声があり、知事から金融機関に、条件変更に積極的に応じるよう働き掛けてほしい。事業などの収入に減少があった人が対象の県税納税猶予の「特例制度」は納期限が今年2月1日までに到来する県税に限られていますが、申請手続きが期限に間に合わなかった事業者への対応

### 融資返済や県税猶予支援

や、2月2日以降に納期限が到来する県税への対応は。【大野知事】今後は昨年融資した資金の措置期間満了などにより、返済負担が重くなると見込まれ、県新型コロナウイルス感染症対応資金の借換制限を緩和し、同資金間の借換えができるようにした。県内金融機関に対しては、これまで返済猶予や借換えなどの相談に柔軟に対応するよう要請してきたが、今後もあらゆる機会に働き掛けていく。県税の猶予の特例制度は原則として今年2月1日の納期限までに申請が必要だが、やむを得ない理由がある場合は期限後も申請を受け付けている。納期限が2月2日以降の県税については、納税困難と申し出があれば、猶予制度の適用などを検討するよう県税事務所に指示した。

▲はぎわら県議の一般質問を取り上げた埼玉新聞の記事

◀一般質問で県政の課題を問うはぎわら県議

## 一般質問の要旨〈抜粋〉

**はぎわら質問** LINEによる事業者に特化した県独自の支援メニューを県民に発信すべきと考えるが、見解を伺う。

**知事答弁** LINEによる情報発信は、即時性が高く、プッシュ型で届けられるメリットがある。一方、発言内容に関心のない情報が多くなる

と、見ていただけないなどの課題がある。こうした課題を踏まえ、運用するコストと効果を見ながら、導入について前向きに検討をしていく。



**はぎわら質問** 不育症検査助成について、埼玉県外の医療機関も対象とすべきではないか。

**保健医療部長答弁** 不育症検査費への助成は県の独自制度で、その対象機関は、全国の不妊治療費助成事業の指定医療機関及び、県内で不育症検査費助成に同意した産婦人科及び泌尿器科の医療機関となっている。検査の実施証明書の発行等に理解を頂く必要があることから、不妊治療費助成事業の指定医療

機関以外は県内の同意を頂いた医療機関に限定している。県独自の助成事業について、不育症検査を行ったことの証明等を発行いただける県外の医療機関についても助成事業の対象とすることを検討していく。



**はぎわら質問** 県営一般住宅における10年の期限付き入居期限について、見直すべきと考えるが、所見を伺う。

**都市整備部長答弁** 県営一般住宅の入居期間を10年間とする制度は、平成19年度の制度導入以降、応募倍率が大幅に緩和され、入居機会の公平性の確保という目的は一定程度達成された。一方、入居者が高齢となり、退去時期を迎えた際に、新たな住宅を確保することが困難な場合もあることは認識している。また、県営住宅の入居

者の高齢化も進む中で、コミュニティが形成された地域に住み続けたいとの要望も頂いている。一般住宅については、高齢者が引き続き安心して住むことができるよう期限付入居制度の見直しを行っていく。



**はぎわら質問** 運転免許証返納時に渡される「運転経歴証明書」を提示すれば、特典やサービスが受けられる「シルバー・サポーター制度」を広く周知し、協賛事業所を拡充すべき。

**警察本部長答弁** シルバー・サポーター制度は、運転免許を返上したいと考えている方に対し、自主返納しやすい環境を整備する観点から、多くの協賛事業所のご協力の下、平成20年に運用を開始した。本年3月1日現在で、この制度にタクシー事業者62社等をはじめ、291事業所、約1,240店舗に協賛を頂いている。本年は、警察本部と警察署が連携し、協賛事業

所拡充に向けた働き掛けや県民の皆様への周知を現在まさに強化している。県警察としては、今後も運転免許の自主返納を考えておられる高齢者の方々への声に耳を傾け、県を始め関係機関と連携を強化し、取組を推進していく。



## 県営屋内50メートルプールの整備に川口市神根運動場が最適地と結論!

**はぎわら県議の提案が実現へ!!** [上尾にスポーツ科学拠点施設]

県が構想する県営屋内50メートル水泳場とスポーツ科学拠点施設の整備選定委員会が行われ、屋内50メートル水泳場を川口市神根運動場に、スポーツ科学拠点施設を上尾運動公園に整備地とすることが望ましいと結論付けました。関東1都6県で公営屋内50メートルプールが無いのは埼玉県だけです。はぎわら県議は、平成29年6月議会の一般質問で水泳場の候補地としてJR東浦和駅や川口ジャンクションからの交通アクセスの良さなど、川口市神根運動場の

優位性を訴えました。今後もスポーツによる潤いと活気ある街づくりを進めていきます。





■ 埼玉県議会議員

かずひさ

県議会ニュース

NEWS vol.35

はぎわら かずひさ 検索

フェイスブックやっています

ツイッターをはじめました

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

発行: 埼玉県議会公明党議員団  
TEL 048-822-9606  
FAX 048-822-9408萩原 一寿  
川口市安行慈林482-42  
TEL & FAX 048-271-9616

# はぎわら一寿



ごあいさつ

埼玉県議会6月定例会が7月2日閉会。7月9日には臨時会が開催されました。新型コロナ対策として、まん延防止等重点措置期間が延長されることを踏まえ、飲食店等の事業者に対する営業時間短縮の協力金に要する経費やワクチン接種体制の強化など補正予算案が可決・成立しました。

新型コロナの収束に向けて、今が正念場です。その切り札であるワクチン接種を円滑に進め、県民の皆様に必要な支援が行き届くように全力で取り組んでいきます。

埼玉県議会議員 萩原 一寿

## はぎわら県議が

## 県民の命と暮らしを守るために提言!!

6月29日には、県議会新型コロナ対策特別委員会が行われました。

はぎわら県議は、県内4会場に拡大される県営集団接種会場の運営や介護従事者、警察関係、教員のワクチン接種、そして飲食店の感染防止対策と時短等の緩和などを取り上げ、これまで頂いた県民からの声をもとに課題に対する指摘や新たな提案を行いました。



はぎわら県議が新型コロナ特別委員会にて質疑を行う

### 新型コロナ対策特別委員会での主な質問項目

- 1 県内4か所(北浦和、越谷、川越、熊谷)に拡大する県営のワクチン接種会場の運営に関する課題は?
- 2 介護従事者や県が担うべき警察関係、教員のワクチン接種を迅速に行うべき
- 3 飲食店の感染防止対策を進めながら、時短営業や酒類提供の自粛を除々に緩和すべき



# はぎわら県議の提案が実現!!



## LINEアカウント 埼玉県\_事業者支援情報がスタート!!

埼玉県は、LINE公式アカウント「埼玉県\_事業者支援情報」を開設しました。

これは、コロナの影響を受けた県内事業者の感染防止策や事業継続に関する県の様々な施策について、その概要や申請手続等を速やかにお届けするものです。

また、国や関連団体などの有益な情報も幅広くご案内していきます。

LINEの利用方法は、「埼玉県事業者支援」で検索し、「埼玉県LINE公式アカウント『埼玉県\_事業者支援情報』」から入り、「LINEによる事業者支援情報」のところで「登録についてはこちら」をクリック。友達追加か



↑こちらから

QRコードを読み取れば、その都度、最新の事業者情報が配信されます。

はぎわら県議は、今年2月定例会の一般質問で幅広い年齢層で利用されているLINEを使って県事業の情報を発信し、プッシュ型でいち早く県の取り組みを知らせるべきと訴えました。



県内事業者の方へ、本県独自の支援メニュー等をお知らせします

## 埼玉県気候変動適応センターが5市と共同で開設

はぎわら県議が、気候変動から県民を守る施策を推進



萩原県議

動適応センター」を4月から開設し、今後、気候変動の影響から人々の暮らしを守る「適応策」を推進していく。県と市の共同による同センターの開設は全国

埼玉県は、県内5市(さいたま市、熊谷市、戸田市、三郷市、鶴ヶ島市)と共同で、温暖化や気候変動に関する情報発信や分析業務などを手掛ける「地域気候変

### 気候変動の対策強化 5市と共同でセンター開設

埼玉県

初。県は2018年、県環境科学国際センター(加須市)に、全国に先駆けて県気候変動適応センターを設置。さらに各地域の特性に応じた取り組みを進めることが重要であるとし、今回、県と各市が連携したセンターの開設に至った。公明党の萩原一寿県議は今年2月定例会で、気候変動適応法に規定された市町村への同センター設置の努力義務に触れ、県の役割や機能の強化を求めている。

(公明新聞から)

## 「生理の貧困」に関する緊急要望

経済的な事情から、生理用品を購入することが難しい「生理の貧困」が顕在化しており、民間の調査では、5人に1人が「金銭的な理由により生理用品の入手に苦労した」と回答しています。

こうした状況の中、全国の地方自治体で生理用品の無償提供の動きが広まっており、公明党県議団は、①県立学校の女性用トイレに生理用品を配備する事、②生活困窮者への支援を行う団体と連携し、生理用品の無償提供を行うこと、③県が市町村を支援することの3点を要望しました。その後、県立学校174校の特定トイレに無償の生理用品が配布されました。

## はぎわら一寿 プロフィール

- 昭和41年8月千葉県船橋市生まれ  
昭和60年3月習志野高校卒業  
平成 2年3月創価大学経済学部卒業
- 平成19年 4月 川口市議会議員選挙当選
- 平成23年 4月 埼玉県議会議員選挙初当選



●平成31年 4月 埼玉県議会議員選挙当選 [現3期]

- 党役職 ■ 公明党埼玉県本部幹事  
川口総支部 総支部長
- 所属委員会 ◆ 県土都市整備常任・副委員長  
議会運営委員  
自然再生・循環社会対策特別委員

## YouTube

埼玉県議会公明党  
オンラインニュース  
を配信しています。  
ぜひご覧ください。



# 県営住宅の期限付き入居制度が見直されました!! はぎわら県議が推進!

埼玉県県営住宅は、平成17年に応募倍率が約16倍となり、入居機会の公平性を確保するため、平成17年度子育て支援住宅、平成19年度一般住宅に10年間の期限付き入居制度が導入されました。その後、平均応募倍率は下がり続け、令和2年には3倍までになりましたが、希望する方が全員入居できる状況ではありません。

しかし、これまでの制度では、入居した高齢者、障害者世帯は10年後に退去しなければならなかったのです。はぎわら県議は、令和3年2月定例会一般質問で高齢者が退去時に新たな住居を探すのは、困窮しやすい事を踏まえ、一定の配慮が必要であると指摘。県は制度を見直す事と答弁し、令和4年1月1日から一部改正となりました。

## 期限付き入居制度の見直しについて

### 課題と対応

#### (1) 期限付き入居制度の課題

- **一般住宅**、**子育て支援住宅**の入居者は高齢者・障がい者でも、10年経過後には退去が必要
- 高齢者・障がい者世帯は、退去後に新たな住宅を確保することが困難

#### (2) 対応

- 県営住宅条例施行規則を改正し、期限付き住宅に入居する次の世帯について入居期間の延長を可能にする。
- ① **名義人または同居人が、70歳以上の世帯** (申込時60歳以上)
- ② **名義人または同居人が、障がい者である世帯**

住宅の種類	住宅の概要	入居期限	改正内容
一般住宅	申し込み世帯(条件)を限定しない住宅	10年	高齢・障がいの場合、延長可能
子育て支援住宅	子育て世帯に限り申し込みができる住宅	10年	障がいの場合、延長可能
高齢者・障がい者住宅	高齢者(60歳以上)または障がい者世帯に限り申し込みができる住宅	期限なし	変更なし

● 施行日：令和4年1月1日

埼玉県県営住宅条例施行規則等の改正

# 埼玉県動物愛護条例の改正案が可決しました!!

埼玉県では平成10年に動物愛護条例が制定され、改正が重ねられてきました。令和3年の動物愛護法改正、県計画で殺処分ゼロ目標を掲げたことに対応するための議員提案による条例案が可決成立しました。



## 改正になった追加項目

- 1 県が施策の実施に当たり市町村、関係団体と連携すること。
- 2 飼い主になろうとする人の責務を新設(事前に知識習得すること等)
- 3 動物取扱業者の責務を新設。
- 4 飼い主は災害時に必要な準備を講ずること。
- 5 県の譲渡ができる動物の範囲を明記したこと。
- 6 愛護推進員さんと綿密な情報共有連携すること。
- 7 以上の取り組みを財政的に措置。予算をつけることを明記。

## はぎわら一寿 プロフィール

- 昭和41年8月千葉県船橋市生まれ
- 昭和60年3月習志野高校卒業
- 平成2年3月創価大学経済学部卒業
- 平成19年4月川口市議会議員選挙当選
- 平成23年4月埼玉県議会議員選挙初当選



- 平成31年4月埼玉県議会議員選挙当選[現3期]
- 党役職 公明党埼玉県本部幹事 川口総支部 総支部長
- 所属委員会 県土都市整備副委員長/議会運営委員 自然再生・循環社会対策特別委員 新型コロナウイルス感染症対策特別委員

## YouTube

埼玉県議会公明党オンラインニュースを配信しています。ぜひご覧ください。

埼玉県議会議員

かずひさ

県議会ニュース

NEWS vol.36

# はぎわら一寿

はぎわら かずひさ 検索

フェイスブック ツイッターやっています

発行：埼玉県議会公明党議員団  
 TEL 048-822-9606  
 FAX 048-822-9408  
 萩原 一寿  
 川口市安行慈林482-42  
 TEL&FAX 048-271-9616

県政に関するご意見・ご要望をお寄せください。



ごあいさつ

埼玉県議会12月定例会が行われ、新型コロナウイルスのPCR検査無料化にかかる経費などを盛り込んだ419億3300万円余りの一般会計補正予算案などの諸議案が可決しました。

今こそ県民の命と暮らしを守るために感染拡大の防止と経済の再生を進めることが急務です。そのために全力で政策の実現に取り組んでいきます。

埼玉県議会議員 萩原 一寿

# 感染拡大を防ぎ、経済再生へ!!

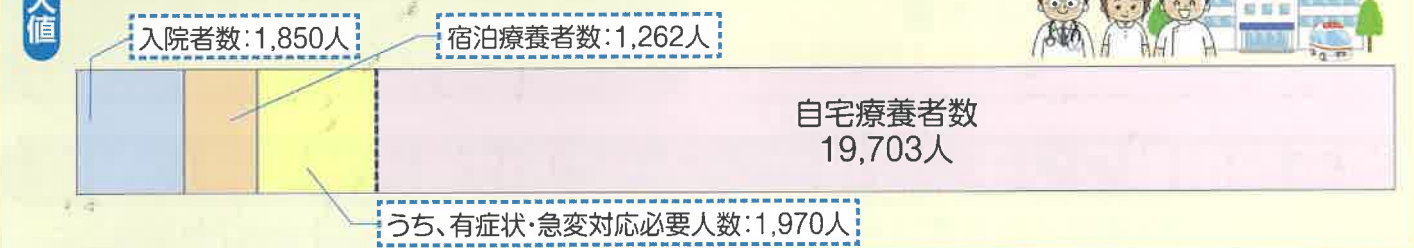
## 更なる病床確保へ!

県では、新型コロナウイルス感染症の第6波に備え、更なる体制の強化を図った保健・医療提供体制確保計画を策定。

少なくとも第5波と同程度の感染拡大が生じることを前提に、1日当たり最大新規陽性者数、最大要入院者数、更に高齢の方の入院増加を見込みを推計し、計画を構築しました。

## 保健・医療提供体制確保計画について

- 1日当たりの最大新規陽性者数 **2,338人** (実績: 2,169人)
- 最大要入院者数 **1,850人** (実績: 1,354人)
- 最大自宅療養者数 **19,703人** (実績: 17,399人) ※調整中の人数を含む
- 最大療養者数 **22,815人** (実績: 21,166人)
- 最大必要病床数 **2,176人** (実績: 1,904人)



## PCR検査等無料化の対象者拡大について

埼玉県では、健康上の理由(基礎疾患や副反応など)等により、新型コロナのワクチンが接種できない無症状の方が、「ワクチン・検査パッケージ」等のために必要となる検査(PCR検査・抗原定性検査)を無料化にしています。

オミクロン株の市中感染の確認に伴い、令和3年12月28日からは、感染リスクが高い環境にある等感染に不安を感じる無症状の埼玉県民の方は、県内の登録されている薬局・ドラッグストアにて無料で検査を受けられるようになりました。



## ワクチン・検査パッケージとは

◆ワクチン接種証明書 ◆検査の陰性証明書  
のどちらかで、飲食店・イベント主催者などが、入店者・入場者を確認することで、感染リスクを低減させ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等において実施される行動制限を緩和するものです。

## 無料で検査を受けられる方

- 1 健康上の理由でワクチン接種ができない方
- 2 12歳未満の子ども
- 3 感染に不安のある無症状の埼玉県民





# 埼玉県議会12月定例会 補正予算の主な概要

付議予定議案

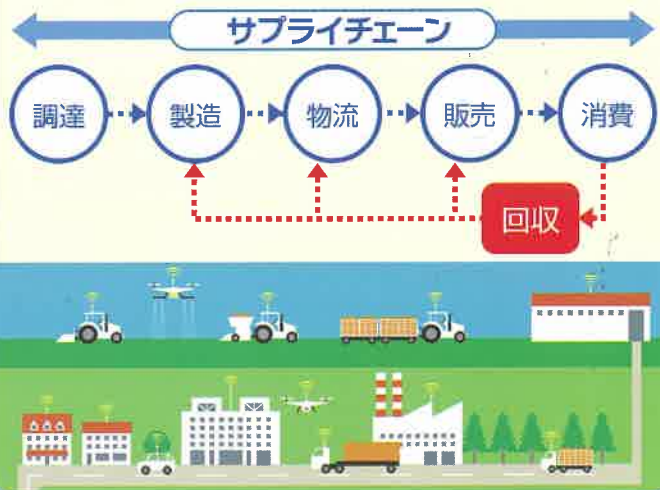
- ◆ 経済環境の変化に対応した事業再構築等に取り組む中小企業者への支援 ..... **1億2814万円**
- ◆ 県外からの旅行者も対象とした観光応援キャンペーンによる観光関連業者への支援 ..... **3億5050万円**
- ◆ 量販店等による県産農産物販売促進キャンペーンを通じた農業生産者への支援 ..... **1億6216万円**
- ◆ 感染発生時の人員確保など福祉サービス提供継続等に向けた支援 ..... **15億1053万円**
- ◆ 公共工事の施行時期の平準化・適正後期の確保 ..... **210億1128万円**
- ◆ 「ワクチン・検査パッケージ」等のため必要な無料のPCR検査等の実施 ..... **298億4091万円**
- ◆ 生活福祉資金に特別貸付の受付期間を年度末まで延長することに伴う助成 ..... **53億3484万円**
- ◆ 宿泊割引等の観光応援キャンペーンによる観光関連業者への支援 ..... **31億4065万円**

追加議案

## サプライチェーンについて

サプライチェーンとは、商品の企画・開発から原材料の調達、生産管理、配送、販売、消費までのプロセス全体を指し、商品が最終消費者に届くまでの「供給の連鎖」のことです。

新型コロナの感染が拡大して以降、製造の現場で部品が調達できない、調達できたとしても価格が何倍も高騰し、困っているとの話を頂いてきました。埼玉県では、成立した補正予算で原油・原材料価格の高騰に対応した緊急融資枠(100億円)を創設。低金利で融資をすることによって中小企業の資金繰りを支援しています。今後、中長期的な視点でパンデミックや災害などの変化に対応できるようサプライチェーンの見直しを官民挙げて行うべきです。



## 埼玉県南部ワクチン接種センターにおける追加接種の開始

- 2月から高齢者(施設入所者等以外)の追加接種の接種間隔が8か月以上から7か月以上に前倒しされます。
- 多くの高齢者が令和3年7月までに2回目の接種を完了したことを踏まえ、**令和4年2月**から埼玉県南部ワクチン接種センターにおいて**追加接種**を開始します。

### 概要

- ▶ 開始予定日/ **令和4年2月1日**~(土日祝日も稼働)
- ▶ 接種会場/ **埼玉県南部ワクチン接種センター**  
【埼玉県浦和合同庁舎】  
(JR北浦和駅徒歩10分)
- ▶ ワクチン/ 武田/モデルナ社製ワクチン
- ▶ 接種人数/ **1日最大1,000人**程度を想定

### 対象者

- 県全域の**3回目接種対象者**(3回目接種券をお持ちの方)
- 65歳以上の高齢者(施設入所者等以外)で、**2回目接種後7か月以上経過した方**
- 上記の他、**2回目接種後8か月以上経過した方**

~予約方法や受付開始時期は、準備でき次第、発表します~

# 私立高校の父母負担軽減拡充を 県に要望!!

11月に公明党埼玉県議団は、「私立高校父母負担軽減拡充を求める要望書」を大野知事に提出しました。

埼玉県は、令和2年度に実質無償化の対象を年収609万円未満から720万円未満の世帯まで拡大。財源を踏まえた上で要望のポイントは、下記の2点です。



大野県知事へ要望書を提出する公明党県議団 (右から3人目がはぎわら県議)

- ☆ 県外私立高校に通う世帯に対する支援を実施すること。
- ☆ 県内私立高校に通う世帯に対しても、所得制限のさらなる引き上げを進めること。

私立高校父母負担軽減については、はぎわら県議はじめ公明党県議団が一貫して拡充を訴えてきました。今後も、実現に向けて、しっかり取り組んでいきます。

# 県立高校体育館にエアコン設置を!!

## 大規模災害の備えとして避難所環境整備は、極めて重要です。

公明党県議団は一貫して避難所となる県立高校体育館へエアコン本設置を訴えてきました。しかし県は災害時に移動式のエアコン、いわゆるスポットクーラーを調達し設置するという、効果に疑問が残るものとなっています。

そこで、公明党議員がクーラーの設置訓練を提案。8月に行われた訓練では、設置人員が19人と多く、搬入から運転開始まで3時間以上を費やしたのです。設置した4台のクーラーでは、外気温との差は、1度から2度と効果がほとんど

見られませんでした。

このことを12月定例会で公明党安藤友貴議員(新座市選出)が指摘。教育長からは、エアコンの本設置も選択肢に含めたいと答弁がありました。



## プラスチックごみについて

プラスチックごみは、海洋生物の生息環境などに悪影響を与えているほか、石油を原料とするため、焼却時に二酸化炭素が発生することから、地球温暖化の一因にもなるなど、その排出



抑制や循環利用が世界規模での課題となっています。

県では、これまでも3R【(リデュース:減らす)、(リ

ユース:繰り返し使う)、(リサイクル:資源化する)】に向けた取組を行ってきましたが、さらなるプラスチックごみの削減と循環利用を進めるため、「プラごみ0(ゼロ)アクション」を展開。

なかでもプラスチックごみの削減とプラスチック資源の循環利用を促進するため、企業や業界団体、消費者団体、市町村等を会員とするプラットフォームを立ち上げました。ここでは、講演会や研修会及び交流会を実施。現在会員を募集しています。



## 埼玉県議会 令和3年2月定例会・4月臨時会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。  
2月定例会が、感染症対策を行いながら、2月19日から3月26日まで開催されました。今定例会では、令和3年度の予算案など、94議案が可決・成立しました。

私は、予算特別委員会・委員として、コロナ対策をはじめ、子育て支援など、地域の皆様の声を反映した質疑を行いました。

また、議会内人事の変更があり、私は議会運営委員会 委員、環境農林委員会 副委員長、少子・高齢福祉社会対策特別委員会 委員等に選任されました。

4月1日には、臨時議会が開会され、2議案が可決・成立しました。

新型コロナの収束がまだまだ見通せない中ですが、引き続き「現場第一」で「スピード感」を大切に、皆様に寄り添い、全力で頑張っております。  
2021年4月



### 【橋詰 昌児 プロフィール】

- ◆昭和40年6月生れ 55歳 ◆国立高知工業高等専門学校卒 ◆日本IBMに21年間勤務 ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議長、農業委員 等歴任 3期務める ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選
- 議会運営委員会委員、環境農林委員会副委員長、少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員、他 党・埼玉県本部 広報宣伝局長



## さらなる新型コロナウイルス感染症対策に **全力!**



### ① 感染収束への切り札「コロナワクチン」の接種スタート!

#### ワクチン接種の流れ

- 1 市区町村から、案内と接種券が届く
- 2 電話やインターネットで予約
- 3 接種券と本人確認書類を持って、会場へ

**ポイント**

- ・接種回数は2回の見込みです
- ・接種後、しばらく待機。万が一、副反応が起きたら、その場で治療を行います

不明な点があれば、無料の電話相談窓口へ  
厚生労働省 新型コロナウイルスコールセンター  
フリーダイヤル 毎日10時～21時  
**0120-761-770**

新型コロナウイルス感染症への高い予防効果が期待されるワクチン接種がスタートしました。今後、65歳以上の高齢者接種が本格化します。  
また、ワクチン接種による副反応等の健康相談に対応するため、埼玉県は専門相談窓口を開設しました。

ナビダイヤル 0570-033-226



### ② 高齢者施設等でのPCR検査を実施

クラスター(感染者集団)になりやすい施設への対策として、高齢者や障害者の入所施設(県管理)の、新規入所者及び職員へのPCR検査を、4月から6月まで、毎月実施します。



### ③ 自宅療養者全員にパルスオキシメーター配布

指に挟んで重症化チェック!

新型コロナウイルス感染症の症状の急変を素早く発見できるパルスオキシメーター。公明党はいち早く県に要望し、現在、自宅療養者全員に配布しています。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会  
公明党議員団

TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

6月定例会は、6月14日(月)から7月2日(金)開催予定です。

★公明党県議団では、身近な県政情報を、動画(YouTube)で配信しています。ぜひ、ご覧ください!⇒







## 埼玉版SDGsの推進について

### マッピング (Mapping) アプリの活用は？



Q.「埼玉版SDGs推進アプリ」について、SDGsが身近なものであると実感できるように、マッピングというアプリの採用の考えは？

A. (企画財政部長) 早速ダウンロードし、使用したところ、つながりとしては有益なアプリと感じた。今後、既存のアプリとのコラボを考えて参ります。



## 安全・安心な道路修繕について

### 道路損傷通報サービスについて→



Q.道路の修繕を通報するシステムは、道路の破損個所に速やかに対応でき、県民サービスが向上すると考える。通報件数が増えるように取り組むべきと考えるが？

A. (県土整備部長)「埼玉県スマホアプリ ポケットブック まいたま」や、道路サポート団体の会報などで、PRしている。今後は、お知らせカードを作成し、道の駅やイベント等で配布を行って、周知徹底して参ります。



【お知らせカード】

## #7171 (虐待通報ダイヤル)について

### 児童虐待を防げ!



Q. 埼玉県内の児童虐待の認知対応件数が、過去最高になるなど、子どもたちの命を断じて守るために早期発見が重要と考えるが？  
また通話料の無料化への状況は？

A. (福祉部長) 虐待防止キャンペーンなどを通じて、虐待通報ダイヤル189も含め、更に周知強化して参ります。また、通話料無料化についても、引き続き協議して参ります。



## DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について

### デジタルデバインド対策の推進を!



Q.デジタル化を推進する中で、大切なのは「誰一人取り残さない」と考える。障害者や高齢者などいわゆるデジタルデバインドを生まない対策が必要であり、県としてどのように進めていく考えか？

A. (企画財政部長) 埼玉県DX推進計画でもデジタルデバインド対策の施策も含んでおり、官民連携でフォローして参ります。県民に寄り添う考えのもとDX推進をして参ります。



## マンション対策について



Q. 築年数の古いマンションが増加する中、県全体のマンション施策を進めるためには、県が積極的にリーダーシップを取りながら、市町村と連携して取り組むべきと考えるが？

A. (都市整備部長) マンション問題に積極的な7つの市に働きかけ、勉強会を発足した。また、マンション問題の意識を共有しながら、各市の支援を行い、県として積極的なリーダーシップを発揮し取り組んで参ります。



## 週末里親・季節里親制度について



Q. 12月定例会でも伺ったが、コロナ禍で児童虐待も増加傾向の中、児童養護施設に入所している児童を、期間限定で、家庭に招き、実際の家庭生活の体験や、ふれあいの場を設けることが、児童にとってかけがいのない経験になる。また、未委託里親にとってもスキル向上につながる、同制度の導入についての検討状況は？

A. (福祉部長) 施設や里親の皆様のご意見を伺いながら同制度の事業化に向けて検討中です。児童相談所を中心に具体的に取り組んで参ります。



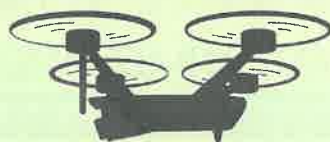
## ◎危機管理・大規模災害対策特別委員会より

### 災害時、ドローンの活用を!

Q. 令和3年度から運用される「防災映像情報システム」において、ドローン映像を活用するとあるが、県で所有しているドローン数は？

最終的には、市町村との映像情報の双方向連携が必要と考えるが？

A. 県として36機のドローンを保有している。市町村にも、ドローンを使った情報収集について働きかけて参ります。



## <2月定例会 主な議案等>

### ◆知事提出議案

◎令和3年度埼玉県一般会計予算

・歳入歳出予算:2兆1,198億4,300万円

◎知事の期末手当の特例に関する条例

◎埼玉県文化芸術振興計画の策定について

◎埼玉県農林水産業振興計画の策定について など



### ◇議員提出議案

◎埼玉県エスカレーターへの安全な利用の促進に関する条例 など

※詳細は県ホームページをご覧ください。



## 埼玉県議会 令和3年6月定例会・7月臨時会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

6月定例会が、感染症対策を行いながら、6月14日から7月2日まで開催されました。今定例会では、コロナ対策関連の補正予算案など、知事提出15議案が可決・成立しました。(議員提出議案は、13件が可決。)

7月9日には、臨時議会が開会され、1議案が可決・成立しました。新型コロナウイルスの収束がまだまだ見通せない中ですが、皆様に少しでも、安心をお届けできますよう、引き続き「現場第一」で「スピード感」を大切に、皆様に寄り添い、全力で頑張ります。

2021年7月



### 【橋詰 昌児 プロフィール】

◆昭和40年6月生れ 56歳 ◆国立高知工業高等専門学校卒 ◆日本IBMに21年間勤務 ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議長、農業委員 等歴任 3期務める ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選

●議会運営委員会委員、環境農林委員会副委員長、少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員、他 党・埼玉県本部 広報宣伝局長



## さらなる新型コロナウイルス感染症対策に

# 全力!



## 県の「コロナワクチン接種センター」が4か所へ拡大!



【集団接種センターを視察する、公明党議員団】

新型コロナウイルス感染症への高い予防効果が期待されるワクチン接種が進んでいます。埼玉県としてワクチン接種加速化のため開設していた集団接種センターを、新たに3か所を増設し計4か所となります。新たな集団接種会場の設置は、公明党県議団が5月18日に知事へ緊急要望していたもので、いち早く実現できました。

新たな接種会場は、熊谷文化創造館さくらめいと(熊谷市)、ウエスタ川越(川越市)、**県民健康福祉村(越谷市)**です。

現在、開設中の県・浦和合同庁舎(北浦和)は引き続き使用されます。

### ◎LINEで事業者支援!

本アカウントでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた県内事業者の皆様の感染防止対策や事業継続を支援するため、本県の施策や関連情報などを幅広く御案内しています。

是非御活用ください。

【お問い合わせ】

県・産業労働政策課 048-830-3723



### ◎高齢者施設等でのPCR検査を継続・拡大!

高齢者や障害者の入所施設(県管理)の、新規入所者及び職員へのPCR検査を、8月まで継続するとともに通所施設の職員にも対象が拡大されます。



### ◎「生活困窮者自立支援金」の支給

新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯のうち、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給します。

【お問い合わせ】 市・生活福祉課 048-963-9162



## 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

埼玉県議会  
公明党議員団

TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

9月定例会は、9月24日(金)から10月14日(木)開催予定です

★公明党県議団では、身近な県政情報を、動画(YouTube)で配信しています。ぜひ、ご覧ください!⇒





# ～少子・高齢福祉社会対策特別委員会での発言～

## ◎ 虐待通報ダイヤル(#7171)の周知について

コロナ禍で急増している虐待について、早期に虐待を発見するために、児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待の通報を、一元化し、24時間365日受け付ける「#7171」について、更に周知拡大するよう求めました。

【電話番号】 #7171

※番号は「虐待ない、絶対ない社会へ」という意味。  
※つながらない場合(IP電話など)は048-762-7533



## ◎ 発達障害総合支援センターについて

県の発達障がい児支援の拠点となる、当センターは、発達障害の支援ができる人材の育成や、親への支援などを行っています。

特に、将来を不安視する保護者等への相談体制については、よりきめ細やかな対応を行うよう求めました。

(お問い合わせ)

【電話番号】 048-601-5551



### ＜6月定例会 主な議案等＞

#### ◆知事提出議案

- ◎令和3年度埼玉県一般会計補正予算
- ◎埼玉県税条例の一部を改正する条例
- ◎埼玉県婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例、など

#### ◇議員提出議案

- ◎国産ワクチン・治療薬等の製造拠点の県内誘致を求める決議
- ◎学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
- ◎産後ケア事業の新たな取組の推進を求める意見書、など

※詳細は県ホームページをご覧ください。



### ＜7月臨時議会議案＞

#### ◆知事提出議案

- ◎令和3年度埼玉県一般会計補正予算(第8号)
- ・補正額:683億6,781万5,000円

#### [コロナ対策]

- ・コロナワクチン個別接種を行う医療機関への支援
- ・職域接種への財政支援(20団体)
- ・感染防止対策協力金の支給
- ・酒類販売事業者への支援
- ・時短協力状況確認のための現地調査
- ・彩の国「新しい生活様式」

安心宣言飲食店+(プラス)に係る現地確認



## 「生理の貧困」対策が前進!

経済的な事情から生理用品を購入することが難しい「生理の貧困」が、コロナ禍で顕在化しています。また、ネグレクトや生理への無理解等の理由で親から生理用品を買ってもらえない児童・生徒がいるとも指摘されています。県議団として、関係機関による生理用品の無償配布をはじめとした取り組みを迅速に実施すべきと緊急要望を行い(写真)以下の項目が実施されました。

#### ＜実施項目＞

- ◎県立学校(特別支援学校含む)174校の特定トイレに無償の生理用品を配備(各学校1000個程度を配布)
- ◎フードパントリー等を通じてひとり親家庭等に配布
- ◎県の災害備蓄品を市町村に提供、など



## ～自然災害への備え万全に～ 堤防のかさ上げに着手!

吉川市を流れる1級河川・中川の堤防かさ上げ工事が5月から始まっており、今年度中に完了する予定です。

かさ上げ工事の対象区間である木売～高久(約1キロ)は、周りの堤防に比べて約1.5メートル低く、洪水の危険性が高くなっています。2019年10月の台風19号の際は、水かさが増え、避難勧告が出され、多くの住民が避難を余儀なくされました。

吉川市議団の皆様と一緒に国へ要望し、事業化が決定したものです。



【現地調査を行う、(中央から)矢倉かつお参議院議員、奥水氏、吉川市議団、橋詰】



## 埼玉県議会 令和3年12月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。  
12月定例会が、感染症対策を行いながら、12月2日から12月22日まで開催されました。今定例会でも、引き続きコロナ対策関連の補正予算案など、知事提出35議案(継続の3議案含む)が可決(認定)・成立しました。

新型コロナウイルスの感染状況は、落ち着いてきていますが、次の感染拡大に備えた取り組みは継続が必要です。迅速な3回目のワクチン接種や、医療提供体制の強化などを実施し、皆様に少しでも、安心をお届けできますよう、引き続き「現場第一」で「スピード感」を大切に、皆様に寄り添い、全力で頑張っております。 2022年1月



【環境農林委員会の報告を行いました】

### 【橋詰 昌児 プロフィール】

◆昭和40年6月生れ 56歳 ◆国立高知工業高等専門学校卒 ◆日本IBMに21年間勤務 ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議長、農業委員 等歴任 3期務める ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選。現在1期目。  
議会運営委員会委員、環境農林委員会副委員長、少子・高齢福祉社会対策特別委員会委員、他 党・埼玉県本部 広報宣伝局長



## さらなる新型コロナウイルス感染症対策に **全力!**



3回目のワクチン接種を速やかに

県の「コロナワクチン接種センター」を設置(予定)



【集団接種会場を視察する、西田まこと参議院議員(右から3人目)、公明党議員団=昨年6月】

新型コロナウイルスワクチンの3回目となる追加の接種が始まっています。ワクチン接種などの効果を持続させるために行われ、対象者は2回目から原則8カ月以上が経過した18歳以上の希望者全員です。

医療従事者から順次開始され、65歳以上の高齢者への接種も始まります。実施期間は本年9月までで、公明党の主張を受け、接種費用は1、2回目と同様に無料となります。

「ワクチン・検査パッケージ(※)」等に必要となる無料のPCR検査・抗原定性検査を実施!

〈県内約620ヶ所の薬局・ドラッグストアを予定〉

無料検査の対象は、健康上の理由でワクチンを接種できない人及び12歳以下の子ども。また、感染が再び拡大傾向になった場合の検査も無料とする。知事が「感染を不安に感じる無症状の人」に積極的な検査を受けるよう要請したケースが条件となる。

〈お問い合わせ〉県コールセンター0570-200-607

(※)「ワクチン・検査パッケージ」は、ワクチン接種証明や検査の陰性結果を提示した人を感染リスクが低いと見なし、緊急事態宣言発令中などでも、飲食店やイベントの行動制限を緩和する制度。



## 観光応援キャンペーンを実施!

行動制限の解除に伴い、県内への観光需要を回復させるため、「とくとく埼玉! 観光応援キャンペーン」の実施期間を3月1日まで延長するとともに、対象者を県民限定から県外からの観光客まで拡大されました。

さらに、50%の宿泊費割引や県内限定の2000円クーポンの配布などを行います。



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください ↓

埼玉県議会  
公明党議員団

TEL:048-822-9606 FAX:048-822-9408

2月定例会は、2月17日(木)から3月25日(金)開催予定です。

★公明党県議団では、身近な県政情報を、動画(YouTube)で配信しています。ぜひ、ご覧ください! →





# ～ご存知ですか 公明党の身近な実績～

## ◎道路の損傷をスマートフォンやパソコンで通報

県が管理する道路の損傷をスマートフォンやパソコンで通報できるサービスです。このサービスは、道路損傷を発見したとき24時間365日いつでも通報でき、位置情報をONにして写真撮影することで、損傷箇所について電話や地図での説明が不要になります。

◆通報はコチラ→



## ◎虐待ダイヤル(#7171)が通話無料に!

児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待の通報を、一元化し、24時間365日受け付ける「#7171」の通話料が無料になりました。

【電話番号】 # 7171  
(0120-80-7171へ転送)

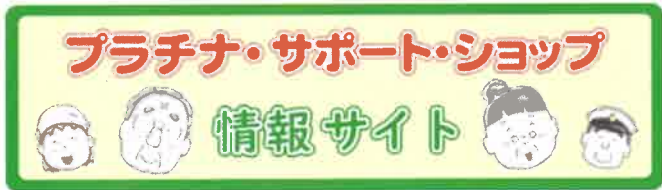
※番号は「虐待ない、絶対ない社会へ」という意味。  
※つながらない場合(IP電話など)は048-762-7533



## ◎プラチナ・サポート・ショップ

～高齢者の暮らしを支えるサービス登録制度～

配達・送迎・移動販売・見守り・割引など高齢者の暮らしを支えるサービスを実施している、民間事業者を登録する制度です。登録したサービスについては、「プラチナ・サポート・ショップ情報サイト」で見える化することで、高齢者本人へサービスをつないでいきます。



## SDGs を推進!

埼玉県公式スマートフォンアプリ  
『S3 (エスキューブ)』



「S3 (エスキューブ)」は、楽しみながらSDGsを知っていただくためのアプリです。SDGsを楽しく学び、実際に取り組んでいただき、各種ポイント付与メニューに沿った行動をすると、ポイントが付与されます。

## 〈12月定例会 主な議案等〉

### ◆知事提出議案

- ◎令和3年度埼玉県一般会計補正予算
  - ・新しい生活様式を見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援
  - ・介護施設等における新型コロナウイルス感染症対策の継続
  - ・公共事業等の施工時期の平準化・適正工期の確保、 など
- ◎指定管理者の指定について(6施設)
- ◎埼玉県5か年計画の策定
- ◎公立大学法人埼玉県立大学  
第3期中期目標を定めることについて、 など

### ◆議員提出議案

- ◎学校施設への空調設備の整備促進を求める意見書
- ◎北朝鮮による拉致問題に対する理解を深めるための取組の更なる推進等を求める決議 など

※詳細は県議会ホームページをご覧ください。

## 殺処分ゼロをめざす! 動物愛護条例を改正!

動物の愛護及び管理に関し必要な事項を定めることにより、県民の動物愛護の精神の高揚を図り、動物の健康及びその安全を保持するとともに、動物による人の生命、身体及び財産に対する侵害を防止することを目的として制定された同条例の改正を行いました。

- ◆主な変更点は、
  - ・飼い主や動物取扱業者への責務を新設
  - ・県が譲渡できる動物の追加
  - ・動物愛護推進員の活動等の新設 など



## 中川水循環センターを視察

流域下水道として全国最大規模

### 下水汚泥でクリーンなエネルギーを「汚泥消化・バイオガス発電システム」

中川水循環センターは、埼玉県東部の11市4町【さいたま市(一部)、川口市(一部)、春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、蓮田市、幸手市、吉川市、白岡市、伊奈町、宮代町、杉戸町、松伏町】から流れてくる下水を処理しています。

今回、施設見学とともに昨年11月から稼働されている「汚泥消化・バイオガス発電システム」について視察しました。

下水を処理するにあたっては多くの温室効果ガスを排出していることから、これを削減する取組として、同センターに再生可能エネルギーを利用できる新たな汚泥処理施設を整備してきました。

11月1日に流域下水道として全国最大規模の「汚泥消化・バイオガス発電システム」が完成し、稼働開始しました。





## 埼玉県議会 令和4年2月定例会が開催されました

日頃より皆様には温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。  
2月定例会が、感染症対策を行いながら、2月17日(木)から3月25日(金)の日程で行われました。今定例会では、令和4年度の予算案を中心にコロナ対策関連の補正予算案など、知事提出89議案が可決(同意)・成立しました。

まん延防止等重点措置が終了しましたが、新型コロナウイルスの感染状況は、まだまだ予断を許さない状況が続いております。お子様へのワクチン接種や、3回目のワクチン接種の推進加速などを実施し、皆様に少しでも、安心をお届けできますよう、引き続き「現場第一」で「スピード感」を大切に、皆様に寄り添い、全力で頑張っております。 2022年4月



### 【橋詰 昌児 プロフィール】

◆昭和40年6月生れ 56歳 ◆国立高知工業高等専門学校卒 ◆日本IBMに21年間勤務 ◆平成19年市議会選挙で初当選。市議会議員、農業委員 等歴任 3期務める ◆平成31年4月 埼玉県議会議員選挙にて初当選。現在1期目。  
■警察危機管理防災委員会 副委員長、地方創生・行財政改革特別委員会 委員、埼玉県社会福祉審議会 委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員 党・埼玉県本部 広報宣伝局長

## 2月定例会の主な議案など

◎令和4年度埼玉県一般会計予算  
(歳入歳出予算:2兆2,284億5,900万円)



### 奨学金返済を企業がサポート

県内中小企業等が人材確保のため、奨学金返還支援を行います



### 子育て世帯の医療費負担が軽減されます

本年10月から、県内全域での窓口無料化が実施されます



### 運転免許更新時の認知機能検査にタブレット端末(140台)を導入

認知機能検査の受け入れ枠が拡大されることで、高齢者講習の長期受講待ちの解消が期待されます



### ◎埼玉県新型コロナウイルス感染症

- 対策推進基金条例の一部を改正する条例
- ◎彩の国さいたま芸術劇場舞台機構設備改修工事
- ◎埼玉県子育て応援行動計画の変更について など

### ◆議員提出議案/意見書/決議

- ◎埼玉県ひきこもり支援に関する条例
- ◎ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議
- ◎課題や悩みを抱える児童生徒に対する公教育の充実を求める決議
- ◎北朝鮮による弾道ミサイル等の発射に重ねて断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議
- ◎学校給食無償化を実施する地方自治体に対する財政支援の強化等を求める意見書
- ◎介護従事者の処遇改善に関する手続の簡素化等を求める意見書など
- ◎は公明党が提出

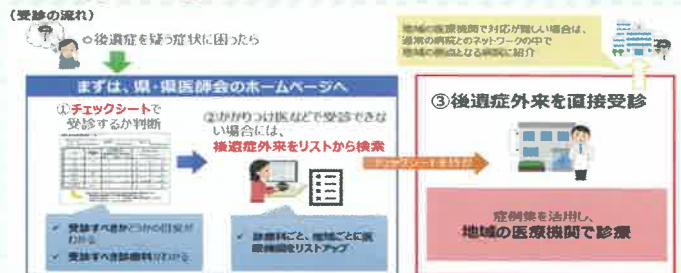
## さらなる新型コロナウイルス感染症対策に全力!

3回目のワクチン接種を速やかに  
県の「コロナワクチン接種センター」を4か所に!



## 「コロナ後遺症」対策を拡充!

4月から「後遺症外来」を直接、受診できるようになりました



## 入所系福祉施設への抗原検査キットの配布

重症化リスクの高い方が入所する福祉施設に抗原検査キットを配布

高齢者施設 約1,500施設 (特養、老健、グループホームなど)  
障害者施設 約500施設 (障害者支援施設、グループホーム)

配布数50,000個



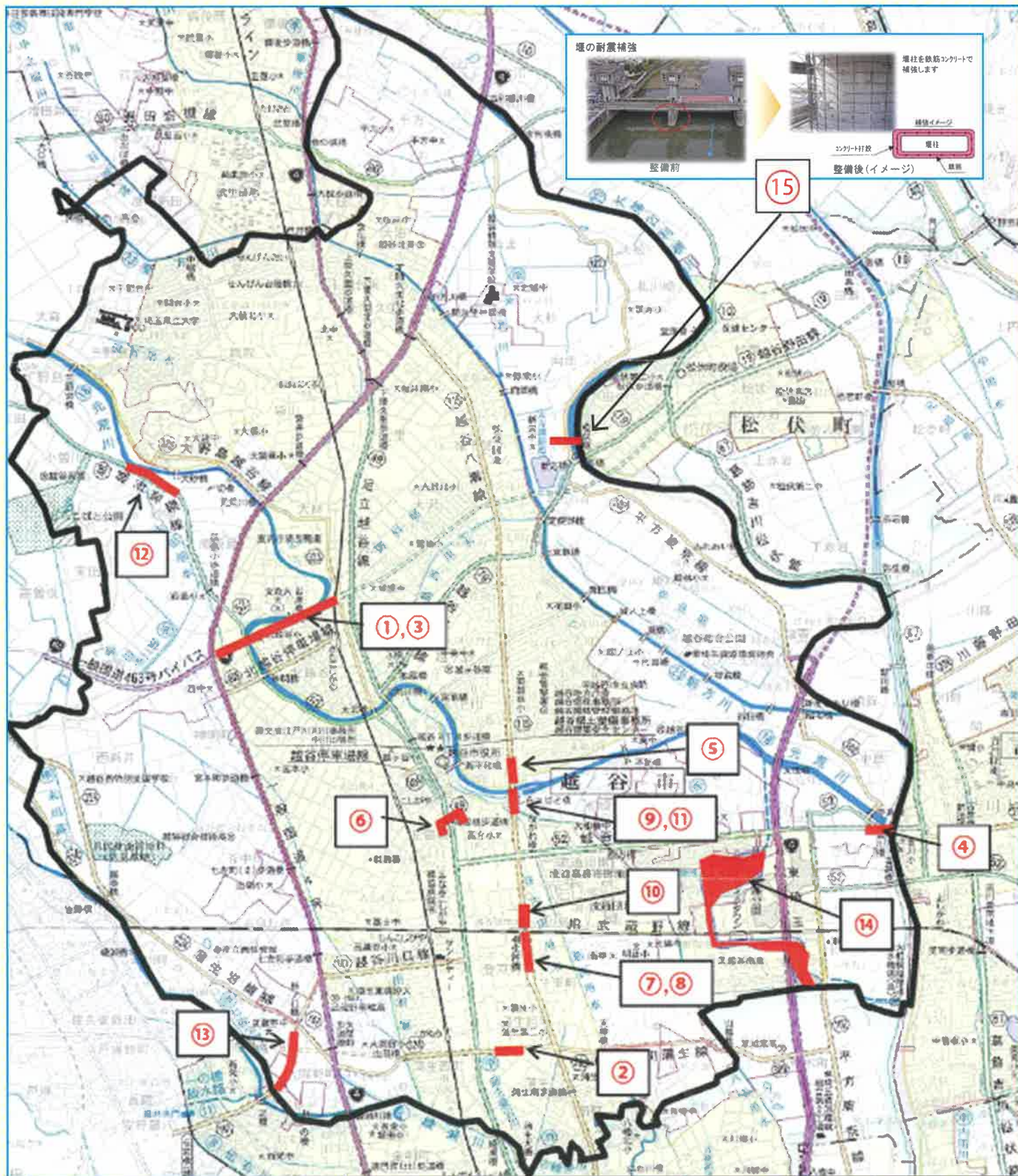




# 越谷市における県事業箇所一覧



・越谷県土整備事務所提供（工事範囲等の詳細は今後決定されます）



No	路線名等	事業概要	No	路線名等	事業概要	No	路線名等	事業概要
①	浦和野田線(元荒川)	街路改良	⑥	足立越谷線(瓦曽根歩道橋)	橋りょう修繕(塗装塗り替え)	⑪	越谷八潮線(しらこぼと橋)	橋りょう修繕(支承補強、落橋防止)
②	南浦和越谷線(1工区)	街路整備	⑦	越谷八潮線(相生陸橋)	橋りょう修繕(スロープ改修)	⑫	越谷岩槻線(砂原)	塗装整備
③	浦和野田線(元荒川)	街路整備	⑧	越谷八潮線(相生陸橋・両側)	橋りょう修繕(桁修繕)	⑬	越谷川口線(大間野)	塗装整備
④	越谷吉川線(吉川)	街路整備(案内板等)	⑨	越谷八潮線(しらこぼと橋)	橋りょう修繕(ひび割れ補修)	⑭	元荒川	河川管理施設修繕(詳細未定)
⑤	越谷八潮線(東越谷)	バリアフリー安全対策	⑩	越谷八潮線(相生陸橋・北側)	橋りょう修繕(橋脚補強、落橋防止)	⑮	古利根堰(ふるとねざぎ)地区	環の耐震補強



# 県立学校体育館エアコン設置訓練の実施と冷房効果の検証を

公明党はエアコン本設置を求めているが、本県は空調機器設置済みの避難所がない14の地域の県立学校体育館に電源盤の整備のみを行っている。災害時に体育館が避難所となった際、スポットクーラーなどを調達し設置するという効果に疑問が残る対応となっている。電源盤の整備は令和2年度に6校、今年度残り8校で実施される。工事が完了した6校すべてを視察したが、機器の搬入や設置にあたって、多くの課題があることを感じた。通常の体育館と重層体育館それぞれにおいて、設置訓練を行うべきである。また、訓練は夏に行い、冷房効果の検証を行うべきである。

**教育長**  
 現地においてエアコン設置訓練を行うことは、災害時の対応の備えとして大変重要である。このため、空調機器の搬入などに工夫が必要な学校と重層体育館のある学校について、それぞれ代表的なものを選定し、エアコン設置訓練を実施していく。また、実際にエアコンの使用が見込まれる夏に訓練を行い、温度データの計測をしていく。これらの訓練・検証を行い、県立学校の体育館が避難所となった際の利用環境の向上にしっかりと取り組んでいく。

高校体育館非常電源冷房の訓練を実施へ  
 高田教育長は11日、災害時の避難所となる県立学校の体育館に設置した非常電源冷房などを稼働させるための非常用電源を設置。今年度は20校に設置するとしている。冷房効果の検証も行う。高田教育長は「冷房効果の検証も行う。冷房効果の検証も行う。冷房効果の検証も行う。」と述べ、実施の準備が整ったことを示した。

埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2021年 夏・秋 第9号



深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 46歳  
 川越市出身  
 東京農業大学第三高等学校卒  
 創価大学文学部社会科学卒  
 公明党県企業局長・青年局長  
 産業労働企業委員会 委員  
 危機管理・大規模災害特別委員会 委員  
 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 委員



# 一般競争入札における「くじ引き」具体的な改善を

**現場の真相**  
 一般競争入札は、技術的な差はあっても、価格の差が大きい。くじ引きは、技術的な差を補うための手段である。しかし、近年は価格競争が激化し、くじ引きの発生率が増加している。これは、入札者の競争力低下や、入札プロセスの不透明化によるものである。具体的な改善策を検討すべき時がきているのではないかと懸念されている。

**総務部長**  
 くじ引きによる落札者の決定は、法令の規定に基づき実施するものだが、技術力や経営力に優れ、競争力が高い地域建設業の育成の観点からは、望ましいものではない。地域の建設業の方々は、災害対応をはじめ県民生活の安心・安全の確保に必要な存在であり、大きな役割を担っていただいている。このような地域の建設業が発展できるよう、業界団体との意見交換も行いながら、総合評価方式の活用や平準化対策の推進をはじめ、有効な方策について検討していく。

現場の真相  
 一般競争入札は、技術的な差はあっても、価格の差が大きい。くじ引きは、技術的な差を補うための手段である。しかし、近年は価格競争が激化し、くじ引きの発生率が増加している。これは、入札者の競争力低下や、入札プロセスの不透明化によるものである。具体的な改善策を検討すべき時がきているのではないかと懸念されている。

**くじ引き増加を警戒**  
 総合評価や平準化さらには、入札プロセスの透明化を図ることが重要である。また、入札者の競争力向上を図るための支援策も検討していく必要がある。具体的には、入札プロセスの透明化を図ることが重要である。また、入札者の競争力向上を図るための支援策も検討していく必要がある。

# 川越北環状線の早期4車線化を

川越北環状線の今成2丁目交差点から小室交差点までの区間が、平成31年3月に4車線で共用が開始された。しかし、小室交差点から脇田新町交差点までの2車線で共用している約1.2キロメートルの区間がボトルネックとなり、混雑が目立っている状況にある。この区間について、早期に4車線化するべきである。



**県土整備部長**  
 現在、この区間の4車線化に向け、拡幅区域内にある送電線の鉄塔移設や脇田新町交差点の交通処理、2つの市道が近接する交差点の形状などについて関係機関と調整を進めている。今後、調整が整い次第、事業の概要に関する地元説明会を開催し、早期の事業化に向けて取り組んでいく。

# 公明党県議団の要望が実現 ウェスタ川越での開設決定 埼玉県ワクチン接種センター 8月から4か所体制に拡充

県議会6月定例会は6月14日～7月2日まで開かれ、一般会計補正予算609億8,610万円の成立を含め、計31議案が可決しました。深谷けんじは公明党を代表し一般質問に登壇。医療現場の声、県民の声をもとに全7項目にわたり質問を展開。深谷質問は、毎日新聞をはじめ、各紙に大きく報じられました(裏面)。

らめいと(熊谷市)・県民健康福祉村(越谷市)の3か所に加え、既に高齢者への接種を行っている県浦和合同庁舎を含めた計4か所での実施が決定。公明党県議団の要望が実現し、8月から設置されます。集団接種会場では、深谷けんじの提案により「エッセンシャルワーカー」から接種を始め、夜間の時間帯にも接種が可能となります。今後、一般の方への接種も実施し、市町村での接種を補完する役割を果たしていくことが期待されます。



# 深谷質問により夜7時まで開設

埼玉県西部ワクチン接種センター ※ワクチン供給状況などにより変更となる可能性があります。

会場	川越市南公民館(ウエスタ川越1階)
開設日	令和3年8月16日(月)～11月下旬まで開設予定
開設時間	午前9時～午後7時(土日祝日含む)
予約受付	令和3年8月12日(木)13時から ※毎木曜日の13時から、翌週月曜日～日曜日の予約を受け付け
接種対象	8月～9月はエッセンシャルワーカーの方、その後一般の方への接種を予定 埼玉県に住民票がある18歳以上で接種券をお持ちの方
接種ワクチン	ファイザー社製ワクチン
予約方法	インターネット予約のみ ※右記QRコードにて県HPより▶
問合せ先	ワクチン接種センター相談窓口 TEL.0570-071-077 午前9時～午後7時 ※予約受付はしていません



▲会場となるウエスタ川越

YouTube  
 埼玉県議会公明党  
 オンラインニュース

深谷けんじ  
 ホームページ

県政に関する  
 ご意見・ご要望を  
 お寄せください

埼玉県庁 公明党控室  
 〒330-0063  
 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
 TEL048-822-9606  
 FAX048-822-9408

自宅事務所  
 〒350-0015  
 埼玉県川越市今泉88-14  
 TEL049-236-2566  
 FAX048-611-7393





# 県議会6月定例会一般質問・答弁

※質問・答弁は要旨 その一部を紹介します。

## 質問項目

- 1 新型コロナウイルス感染症対策について
  - (1) ワクチン接種について
  - (2) 医療提供体制整備について
  - (3) トレーナー派遣等事業について
  - (4) 仮設専用医療施設について
  - (5) 飲食店の感染防止対策について
- 2 県立学校体育館におけるエアコン設置訓練の実施を
- 3 仮想発電所(VPP)の実証実験を
- 4 災害時における電気自動車の活用について
- 5 障害者入所施設利用者の避難について
- 6 一般競争入札におけるくじ引きについて
- 7 都市計画道路川越北環状線の4車線化について

## ①(3) 新型コロナウイルス受け入れ病床拡大へ 深谷提案によりトレーナー派遣事業がスタート

6月22日付 埼玉新聞2面

**新型コロナウイルス**  
感染者の受け入れ病床を拡大し、県は新たに受け入れを考慮している医療機関などを感染症専門医を派遣し、助言・指導する「トレーナー派遣事業」を5月から始めた。これまで14床の拡大に

新型コロナウイルス感染症の受け入れ病床を拡大し、県は新たに受け入れを考慮している医療機関などを感染症専門医を派遣し、助言・指導する「トレーナー派遣事業」を5月から始めた。これまで14床の拡大に

新型コロナウイルス感染症の受け入れ病床を拡大し、県は新たに受け入れを考慮している医療機関などを感染症専門医を派遣し、助言・指導する「トレーナー派遣事業」を5月から始めた。これまで14床の拡大に

## 県、トレーナー派遣

受け入れ病床拡大へ 検討医療機関に

感染再拡大に備えて



### 計22床の拡大へ

トレーナー派遣事業は、埼玉医科大学総合医療センター岡秀昭教授の発案で私から提案していた事業である。本事業は、コロナ患者の新規受け入れを検討している医療機関等に感染症専門医や認定看護師をトレーナーとして無償で派遣し、助言・指導するものである。この研修によって新たな病床を確保することで、医療機関の役割分担が進み、逼迫を抑える大きな力になる。事業の効果と、今後より実践的な研修とするため、新規受け入れを検討している医療機関の医師・看護師をトレーナーの医療機関で短期間研修させることも検討すべきと考えるが見解を伺う。

**大野知事** ※7/31現在、7病院に派遣され、計22床の拡大  
5月からこれまでに、5病院にトレーナーである医師や感染管理認定看護師を派遣し、新たに中等症及び軽症病床を14床確保した。今後、派遣を予定しているのが2病院、調整中が3病院である。感染症に対応できる医療機関を増やしていくことは重要なことである。受入れ研修は、実際のコロナ患者への対応を実践的に学ぶ研修とする必要があることから、受講側、指導側双方の意見を伺い、具体的な仕組みの構築について検討していく。

## 徹底して現場を走る!



埼玉医科大学総合医療センターの堤晴彦院長と継続して意見交換

## 昨年4月以降、新型コロナウイルス対策の意見交換27回・6度の現場視察

- 2020年4月28日 埼玉医科大学総合医療センターのコロナ専用病棟を視察。医療機関へのさらなる支援の必要性を委員会で訴え、空床補償費の増額等、支援の拡充が実現。
- 2020年7月21日 同センターでコロナ病床確保のため工事中の現場を視察。病床改修費は当初補助対象外に。支援の必要性を委員会で取り上げ、改修費への補助が決定。
- 2020年9月23日 同センターを西田実仁、秋野公造の両参議院議員、西山淳次県議と視察。意見交換で、医療現場の要望や課題を国・県のネットワークを生かして取り組むことを確認。
- 2020年12月22日 同センターに建設中の仮設専用医療施設を視察。病床確保のために、県内8か所、計176床分の建設を推進。委員会で医療スタッフの確保等、支援を求める。
- 2021年3月15日 同センターにて、医療従事者へのワクチン接種の状況を視察。ワクチン接種の加速化への取り組みに生かす。
- 2021年3月24日 同センターに完成した仮設専用医療施設を矢倉かつお参議院議員と視察。完成が3月となる医療機関は、病床確保による国の緊急支援の対象外に。矢倉氏が国会で取り上げ、田村厚労大臣から一転「補助対象としていく」との答弁を引き出す。



一般質問録画配信はこちら

埼玉県議会議会中継発言一覧

## ①(4) コロナ仮設専用医療施設 可能な限り存続を

本県は県内8か所、新規病床176床のコロナ仮設専用医療施設を建設した。新型コロナウイルスとの闘いに挑むこの8医療機関は、将来にわたって賞賛されるべきであると強く訴えたい。同施設は、時限的な措置として建設されている。医療法改正に伴う新興感染症対策として、第7次医療計画の中間見直し、第8次医療計画の策定を踏まえ、未だ収束のみえないコロナの状況下においては、可能な限り存続させざるべきと考える。平時から有事の医療への備えの病床として位置付けられるよう、国と積極的に協議すべきではないか。

**大野知事**  
ご指摘の通り、今後も、新型コロナウイルス感染症のような新興感染症が起こり得ることから、平時からの備えとして一定数の病床を確保していくことは大変重要であると考え。参議院厚生労働委員会でも矢倉かつお参議院議員がこの問題についても質問をいただいた。県では現在、第7次地域保健医療計画の中間見直し作業を行っており、この中に新型コロナウイルス感染症対策を盛り込む予定である。引き続き、国に対し感染症拡大時における病床の弾力的な運用とその財源措置につき、働き掛けていく。

県は、仮設専用医療施設「い。コロナ」の存続も、平時の医療提供体制の確保も、両方とも確保する必要がある。例外的な措置として、仮設専用医療施設を建設し、平時から有事の医療への備えの病床として位置付けられるよう、国と積極的に協議すべきではないか。

▲6月22日付 埼玉建設新聞1面

## ①(5) 深谷提案により飲食店向け 感染防止対策動画を作成・公開

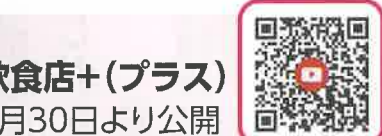


飲食店の感染対策のポイント

飲食店の感染対策のレベルを一段上げるため、飲食店向け感染防止対策動画を作成すべきと提案してきたが、作成状況はどうか。また、動画を広く周知、徹底するよう取り組んでいくべきである。

**飲食店の感染予防対策**  
～彩の国「新しい生活様式」安心宣言 飲食店+(プラス)  
YouTube 6月30日より公開

**産業労働部長**  
感染防止の取組を飲食店の皆様に分かりやすく、効果的に取り組んでいただく上で、感染症の専門家の視点から留意事項を助言することは大変有益と考え、現在、動画作成に着手している。6月中に完成、公開の予定である。完成した動画は、県ホームページやYouTubeでの配信、関係団体を通じて県内飲食店に呼び掛け、広く広聴し、参考としていただくよう、積極的に周知を図っていく。



これから医療現場の声を県政へ届けてまいります



埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2021年 秋・冬 第10号



## 徹底して医療現場へ コロナ対応 意見交換35回

9月 29日

埼玉医科大学総合医療センター 岡秀昭教授(感染症専門医)と意見交換

## 2021

9月 16日

第5波で逼迫した川越市保健所を視察し、自宅療養者への対応などITを活用した体制強化について意見交換。



8月 11日

感染拡大により逼迫する埼玉医科大学総合医療センターのコロナ病床を視察。最前線で闘う医療スタッフに感謝の思いを伝えるとともに、同センターが実施する「抗体カクテル療法」の推進について、堤晴彦病院長と意見交換。



3月 24日

同センターに完成した仮設専用医療施設を矢倉かつお参議院議員と視察。完成が3月となる医療機関は、国の緊急支援の対象外に。矢倉氏が国会で取り上げ、田村厚労大臣(当時)から一転「補助対象としていく」との答弁を引き出す。



3月 15日

同センターにて、医療従事者へのワクチン接種の状況を視察。堤晴彦病院長と、ワクチン接種の加速化や、医療体制の強化について意見交換。



## 2020

9月 23日

同センターを西田実仁、秋野公造の両参議院議員、西山淳次県議会議員と視察。意見交換で、医療現場の要望や課題に国・県のネットワークを生かして取り組むことを確認。

7月 21日

同センターでコロナ病床確保のため工事中の現場を視察。病床改修費は当初補助対象外に。支援の必要性を委員会で取り上げ、改修費への補助が決定。

4月 28日

同センターのコロナ専用病棟を視察。医療機関へのさらなる支援の必要性を委員会で訴え、空床補償費の増額等、支援の拡充が実現。

12月 22日 埼玉医科大学総合医療センターに建設中の仮設専用医療施設を視察。病床確保のために、県内8か所、計176床分の建設を推進。委員会で医療スタッフの確保等、支援を求める。





# 「トレーナー派遣事業」でコロナ病床拡大 18医療機関に派遣、新たに計50床確保へ

トレーナー派遣事業は、埼玉医科大学総合医療センターの感染症専門医 岡秀昭教授の発案で、**深谷けんじ**が県に提案し実現した事業です。

本事業は、コロナ患者の新規受け入れを検討している医療機関等に感染症専門医や認定看護師をトレーナーとして派遣し、病棟のゾーニングや治療法、看護師のメンタルヘルスケアなどについて助言・指導するものです。受講側の医療機関からは、「患者の受け入れにあたり不安が解消した」といった声が県に寄せられ、大きな効果が生まれています。

現在、すでにコロナ病床を確保して患者対応を行っている医療機関からも、より専門的な助言等を求めた派遣要請があるなど、医療の質の向上にも寄与しています。本事業をさらに活用するとともに、トレーナーが所属する医療機関における受入れ研修も検討



▲9月29日 岡秀昭教授と意見交換

を進めていきます。

岡秀昭教授とは定期的に意見交換を続けており、9月29日には、ワクチン接種の効果と抗体カクテル療法の実施状況など、重症化を予防するための対策について貴重なご助言をいただきました。最前線で闘う医療従事者への支援について要望もありました。引き続き、課題解決へ全力で取り組んでいきます。

## 県、トレーナー派遣

受け入れ病床拡大へ 検討医療機関に

### 新型コロナ

新型コロナウイルス感染症の受け入れ病床を拡大しようと、県は新たに受け入れを考えている医療機関などに感染症専門医らを派遣し、助言・指導する「トレーナー派遣事業」を5月から始めた。これまで5病院に派遣され、計14床の拡大につ

なってきた。21日の県議会で定例会で、深谷顕史議員（公明）の質問に答えた。

派遣対象は、これまでコロナ患者を受け入れていなかった医療機関の他、中等症患者は受け入れられているものの重症患者の診療実績がない医療機関など。

トレーナーとして派遣されるのは、これまで

「感染再拡大に備えて『今冬の最大感染者数の2倍』を例に、医療体制を強化するよう都道府県に通知。県はピーク時の入院患者数を1376人と見込み、急増時には最大1667床のうち重症用201床を確保する方針を示した。『第3波』に襲われた3月末までに県は1509床を確保し、当初の目標である1400床を上回ったが、重症用は155床で目標に届かなかった。」

▲2012年6月23日付毎日新聞

## 令和3年9月定例会 新型コロナ「第6波」への備え 医療提供体制を整備・強化



大野知事へ令和4年度予算要望書を提出 深谷けんじ（一番右）

埼玉県議会9月定例会は10月14日、新型コロナウイルス感染症対策として、医療提供体制整備や自宅・宿泊療養体制整備など1516億3493万円の補正予算案等、計57議案が可決され閉会しました。議員の共同提案による意見書案13件、決議案2件も全会一致で可決されました。

また同14日、公明党県議団として取りまとめた新型コロナ対策や福祉分野などの政策要望をはじめ、県内各団体や地域から寄せられた声を盛り込んだ「令和4年度要望書」を大野知事に提出。県政に反映できるよう、全力で取り組んでまいります。

## 声をカタチに 小さな声を、聴く力。通学路の安全対策に全力



設置前 設置後



設置後



県道川越新座線  
「ローソン木野目六角店」様  
付近に横断歩道の設置

**深谷けんじ プロフィール**  
1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳  
川越市出身  
東京農業大学第三高等学校卒  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長

産業労働企業委員会 委員  
危機管理・大規模災害特別委員会 委員  
新型コロナウイルス感染症対策  
特別委員会 委員

深谷けんじホームページ



県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

**埼玉県庁 公明党控室**  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

**自宅事務所**  
〒350-0015  
埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393



埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2022年  
2月  
第11号



## 新型コロナ対策 医療現場の声から 県動かす ワクチン3回 迅速に



昨年12月25日  
埼玉医科大学総合医療センター  
でのブースター接種を視察



昨年9月29日・11月25日・12月25日  
埼玉医科大学総合医療センター 岡秀昭教授(感染症専門医)と意見交換

令和3年  
12月定例会

## 「第6波」医療体制の強化と経済再生支援

令和3年12月定例会で深谷けんじ議員(公明)の質問に、県側が答弁した。

各病院の病床使用率にはばらつきがあることは昨年末ごろから県議会でも指摘されており、関本建二・保健医療部長は「できるだけ

県が11月中旬、新型コロナウイルス患者を受け入れている医療機関に「入院調整依頼のルール」を通知したことが明らかにされた。

医療体制が切迫した「第5波」では、一部医療機関では病床使用率が低いにもかかわらず、入院できずに自宅で療養中に死亡する患者が相次いだことが問題となった。政府も「感染拡大時の病床稼働率を8割超まで引き上げる」と述べている。

分敷させるオペレーションを努力している。夏の第5波でも再び見られた。県は病床使用率を上げるため、今回、使用率が高い病院から患者の受け入れの要請を行うというルールを明文化した。入院調整を担う県調整本部が、重症や中等症から回復傾向にある患者を軽症用病床に転院させる調整も

令和4年も、深谷けんじは県民の皆様のため、地域のために、「現場第一主義」で活動してまいります。埼玉県議会12月定例会は12月2日～22日までの会期で行われ、419億3,300万円あまりの一般会計補正予算案が全会一致で可決されました。補正予算では、ポストコロナを見据えた社会経済活動の活性化に向けた支援が盛り込まれ、主なものとしてキャッシュレス決済端末の導入補助など商店街への支援や、観光支援策などを行います。加えて、コロナ禍で影響を受けている「県産米」をはじめとした県産農産物の消費拡大を図るため、量販店等が県産農産物を使ったキャンペーンを実施する際に使用する食材費やPR費を補助し、農業生産者への支援につなげていきます。医療提供体制は、新規陽性患者の急激な増加に対応できるよう強化します。コロナ病床は最大2,176床を確保しますが、実効性のある病床となるよう、医師・看護師への研修制度である「トレーナー派遣等事業」の活用をさらに進めます。また、第5波における重症病床逼迫の教訓から、県入院調整本部が回復期にある患者の転院調整を行います。この仕組みは深谷けんじが新型コロナ対策特別委員会の中で求めてきたことで、12月17日に開催された同委員会で県が明らかにし、翌日の毎日新聞に報道されました。

県、入院調整で「ルール」  
病床使用率 低い病院から依頼

▲令和3年12月18日付 毎日新聞

## 埼玉県南部ワクチン接種センターにおける追加(3回目)接種の開始

インターネットからご予約いただけます

受付開始 令和4年1月25日(火) 16時から

スマートフォンからのご予約  
右のQRコードより予約サイトへ



パソコンからのご予約  
埼玉県ホームページより予約サイトへ

埼玉県南部ワクチン接種センター

検索

### 対象者

- 県内全域の3回目接種対象者(3回目接種券をお持ちの方)
- 2月～ 接種間隔7か月以上の高齢者(施設入所者等以外)を中心に接種
- 未接種の医療従事者等の接種も受け付けます
- 3月～ 接種間隔7か月以上の64歳以下の方にも接種

開始予定日 令和4年2月1日(火)～(土日祝日も稼働)

接種会場 埼玉県南部ワクチン接種センター

【埼玉県浦和合同庁舎(JR北浦和駅徒歩10分)】

ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン

接種人数 1日最大1,000人程度を想定

相談窓口(※電話でのご予約はできません)

0570-071-077



# 令和3年12月定例会 県立高体育館 エアコン本設置も検討

災害時に避難所にもなる県立高校体育館へのエアコン本設置は、公明党県議団が強く求めている政策の一つです。しかしこれまで県は、災害時に可動式エアコンを調達し、体育館に設置するという方針を崩さず、計14校へ空調用電源盤の設置のみ完了しています。

昨年、そのうち6校で電源盤の調査を行い、6月の一般質問で**深谷けんじ**が、災害時に迅速なエアコン設置を可能とするために、「可動式エアコン設置訓練」の実施を強く求めた結果、8月に2校で実施。安藤ともき県議とともに猛暑のなか行われた訓練に立ち会い、機器搬入時に多くの人員が必要なことや、外気温差わずか1～2度で冷房効果が少ないことなど、様々な課題を目のあたりにしました。

徹底した現場調査をもとに、安藤ともき県議が12月の一般質問で鋭く問い質し、教育長からは「災害時の活用可能性など費用対効果も踏まえ、エアコン本設置も選択肢に含めていく」と、これまでの方針を転換する答弁がありました。防災・減災対策を重要政策に掲げる公明党県議団は、エアコン本設置へ向け全力を尽くしてまいります。

## 可動式エアコン 涼しくない

県立高校の体育館のエアコン設置を巡っては、これまで高規格冷暖房用や設置後の電代などがネックとされてきた。災害時に避難所となる県立高校の体育館に可動式のエアコンを設置した際、外気温と室内温度の差がわずか1～2度で冷房効果が得られないという結果が出た。また、設置訓練の際にも、冷房効果を得るには訓練で使用した電源盤の容量が不足するなどの課題も明らかになった。本設置も選択肢の一つとして検討する必要がある。

災害時避難所 県立高体育館

## 常設化転換も検討

県教委・設置訓練で検証 外気温差わずか1～2度

「可動式エアコン」は、冷房効果が得られないという結果が出た。また、設置訓練の際にも、冷房効果を得るには訓練で使用した電源盤の容量が不足するなどの課題も明らかになった。本設置も選択肢の一つとして検討する必要がある。

▲令和3年12月14日付 毎日新聞

# 声をカタチに 小さな声を、聴く力。 地域要望が実現

### 南小畔川の浚渫工事を推進



▲令和3年4月29日  
倉ヶ谷戸堰水利組合の皆様より  
南小畔川浚渫の要望



▲令和3年12月15日  
南小畔川緊急浚渫工事が行われ  
県職員、水利組合の皆様と現地調査



### 排水柵設置で水たまり解消 歩道・車道改修



▲令和3年8月 県道川越日高線 笠幡付近

### 横断歩道設置



▲令和3年3月 県道川越所沢線 新宿歩道橋下

### ガードパイプ設置で通学路の安全確保 歩道整備で歩行者の安全確保



▲令和3年9月 県道川越北環状線 平塚橋東



▲令和3年3月 国道254号線(川越街道)藤間付近

### 深谷けんじ プロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳  
川越市出身  
東京農業大学第三高等学校卒  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長

産業労働企業委員会 委員  
危機管理・大規模災害特別委員会 委員  
新型コロナウイルス感染症対策  
特別委員会 委員

深谷けんじホームページ



### 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

#### 埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

#### 自宅事務所

〒350-0015  
埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393



埼玉県議会議員

# 深谷けんじ

2022年  
4月  
第12号



## 現場の声を原動力に県政を前へ



令和2年9月 埼玉医科大学総合医療センター

令和4年2月

西田まこと参議院議員と医療現場(左から3人目)、中小企業(一番左)の声を聴く

## 令和4年度当初予算成立 コロナ対策など直面する危機脱却に注力

2月定例会は2月17日～3月25日の会期で行われ、公明党議員団からの要望も多く盛り込まれた一般会計総額2兆2,284億5,900万円の令和4年度当初予算が成立しました。

2月28日、ロシアによるウクライナへの侵攻に対する抗議決議を全会一致で採択しました。決議文では「ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、力による一方的な現状変更を認めないとの国際秩序の根幹を揺るがすとともに、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法・国連憲章違反であり、断じて容認することはできない。」とロシアを強く非難しました。

公明党の塩野正行議員の一般質問では、原油・原材料価格高騰への対策や支援、建設・土木など公共工事への対応について取り上げ、埼玉建設新聞に報道されました(右記事参照)。

### 医療機関で感染症対策のリーダーとなる専門人材を育成へ

新年度予算は、「直面する危機からの脱却」と「日本一暮らしやすい埼玉に向けた将来像の実現」に取り組むことを柱に編成され、引き続き、最優先課題である感染症対策に注力します。

新型コロナウイルス感染症のパンデミックによって多く発生した医療機関におけるクラスター防止策として、埼玉県では、院内で感染防止対策のリーダーとなる感染症専門人材を育成していきます。

令和4年度は343人、令和5年度は199人、合計542人の育成を目指します。実習は実際の臨床現場で実施し、大病院でのシステム・スキル等先進事例に触れる機会も作ります。コロナ病床確保のため、埼玉医科大学総合医療センターの岡秀昭教授の発案で深谷けんじの要望によって昨年5月より始まったトレーナー派遣事業(これまで感染症専門医等が27病院に派遣され61床の増床。酸素ステーションにも計8回派遣)との連動が今後期待されます。

埼玉県ワクチン接種センターは計4か所に拡充。南部会場(県浦和合同庁舎)に続き、深谷けんじの要望により3月1日から川越市内に西部会場が先行設置。現役世代のワクチン接種を加速するため、平日は19時まで、土日祝日は18時まで受付が可能(下図参照)。この他、4月8日から東部会場(南越谷駅・新越谷駅徒歩3分 南越谷ラクーン)と北部会場(熊谷駅徒歩3分 ニットーモール)が開設されます。

また、感染拡大を契機として進んだデジタル技術の活用を社会全体のデジタルトランスフォーメーション(DX)の実現へと推進し、ウィズコロナ下での経済の回復と成長に取り組んでいきます。

### 建設業はスライド条項活用を 調達コスト高騰を注視

知事、ウクライナ情勢など踏まえ産業支援

大野元裕県知事は、ロシアによるウクライナ侵攻など直近の社会情勢を踏まえた県内産業の支援策について1日の県議会答弁で見解を示した。世界的に高騰する原油・原材料価格への対応、企業の資金繰り面におけるセーフティネット強化などを徹底。「ウクライナ情勢は先が見えない。コロナ禍も同様。具体的な形で対応が必要と考えられた場合は、ちゅうちょなく取り組む」と強調した。

原油・原材料を巡って組む姿勢を新たに。公共工事では、契約約款における資機材単価の引上げや、スライド条項活用を呼び掛けた。この1年で鉄筋は約22%、軽油が約16%の単価上昇がみられる。

塩野正行県議(公明)の質問に対し、知事は「ウクライナ侵攻が開始された前からの頻りに情報を収集し、自分が先頭に立つて関係部署の共有体制を敷いてきた」と説明。今後も、不安を抱える事業者・県民の支援、一元的な情報発信に取り組む。知事は「建設業連団体に対し、申請手続き・スライド額の算出方法などの運用マニュアルを送付した。契約締結時には手続の流れ・相談窓口を明示したりリーフレットを渡すなど、きめ細かな支援を行う」と述べた。

県内事業者全体への資金繰り支援では「県制度融資の経営安定資金で、融資対象業種を全業種とし、緊急融資枠100億円を設定した」と報告。「現在までに約150件・30億円を超える申し込みがあり、今後も増える見込みだ」と状況を伝えた。

▲令和4年3月3日 埼玉建設新聞 2面

### 川越市 埼玉県西部ワクチン接種センターにおける3回目接種

**ご予約はインターネットから**

スマートフォンからのご予約  
右のQRコードより予約サイトへ

パソコンからのご予約  
埼玉県ホームページより予約サイトへ

埼玉県西部ワクチン接種センター

相談窓口 **0570-071-077**  
(※電話でのご予約はできません)

**対象者** 以下全てに該当する方

- ① 埼玉県内に住民票があり、3回目接種券を持っている方
- ② 接種日時時点で18歳以上の方
- ③ 2回目接種日から6カ月以上が経過した方

**開始予定日** 令和4年3月1日(火)～(土日祝日も稼働)

**開場時間** 平日 10:30～19:00受付  
土日祝 9:30～18:00受付

**接種会場** 山崎ビル(川越駅西口から徒歩1分)  
ワクチン 武田/モデルナ社製ワクチン

※記載内容は今後変更になる場合がございます。

埼玉県川越市脇田本町1-2



# 令和3年度2月補正予算と合わせた13か月予算で 防災・減災対策を強力に推進 強靱な県土構築へ

## 川越市における県事業箇所一覧

※川越県土整備事務所提供  
※工事範囲等の詳細は今後決定していきます



### 事業概要

- |               |                    |                    |               |
|---------------|--------------------|--------------------|---------------|
| ①川越北環状線(道路拡幅) | ⑬国道254号(自転車通行環境整備) | ⑳新河岸川(維持修繕)        | ㉒川越日高線(交差点整備) |
| ②川越北環状線(道路拡幅) | ⑭国道254号(排水改善)      | ㉑九十川(維持修繕)         | ㉓川越越生線(歩道整備)  |
| ③新琵琶橋(橋りょう架替) | ⑮国道254号(舗装修繕)      | ㉒南小畔川(維持修繕)        | ㉔川越越生線(交差点整備) |
| ④川越日高線(交差点整備) | ⑯国道254号(舗装修繕)      | ㉓川越栗橋線(交差点整備)      | ㉕川越所沢線(交差点整備) |
| ⑤川越越生線(交差点整備) | ⑰川越日高線(舗装修繕)       | ㉔川越所沢線(交差点整備)      | ㉖川越栗橋線(交差点整備) |
| ⑥川越越生線(歩道整備)  | ⑱国道254号(舗装修繕)      | ㉕市道5132号線函渠橋(計画修繕) | ㉗小畔川(護岸更新)    |
| ⑦川越越生線(歩道整備)  | ⑲国道254号(舗装修繕)      | ㉖市道5066号線函渠橋(計画修繕) |               |
| ⑧今泉橋(計画修繕)    | ⑳川越所沢線(舗装修繕)       | ㉗久保川橋(計画修繕)        |               |
| ⑨川越線高架橋(計画修繕) | ㉑川越所沢線(舗装修繕)       | ㉘柳原橋(計画修繕)         |               |
| ⑩落合橋(計画修繕)    | ㉒川越狭山自転車道線(舗装修繕)   | ㉙九十川排水機場(保守点検)     |               |
| ⑪小仙波②橋(計画修繕)  | ㉓国道254号(舗装修繕)      | ㉚小畔川(土砂除去等)        |               |
| ⑫小仙波③橋(計画修繕)  | ㉔新河岸川(堤防補強)        | ㉛南小畔川(土砂除去等)       |               |
| ⑬山田橋(計画修繕)    | ㉕九十九川排水機場(耐震補強)    | ㉜不老川(土砂除去等)        |               |
| ⑭宮下橋(計画修繕)    | ㉖新河岸川(河道整備)        | ㉝新河岸川(土砂除去等)       |               |
| ⑮八瀬大橋①(計画修繕)  | ㉗九十九川外(設備整備)       |                    |               |
| ⑯杉下歩道橋(計画修繕)  | ㉘新河岸川(維持修繕)        |                    |               |

※予算上、事業箇所と事業概要に一部重複があります

凡例	
	①令和4年度当初予算
	㉒令和3年度2月補正予算
文字色	道路のバイパス整備、拡幅整備
	交差点の整備
	歩道の整備
	河道の拡幅整備等
	道路や河川の環境整備
	橋りょうの計画的な点検修繕、耐震補強等
	その他の維持修繕

### 深谷けんじプロフィール

1974(昭和49年)年9月3日生まれ 47歳  
川越市出身  
東京農業大学第三高等学校卒  
創価大学文学部社会学科卒  
公明党県企業局長・青年局次長

議会運営委員会 委員  
環境農林委員会 副委員長  
人材育成・文化・スポーツ振興  
特別委員会 委員  
図書室委員会 委員

深谷けんじホームページ



### 県政に関するご意見・ご要望をお寄せください

#### 埼玉県庁 公明党控室

〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
TEL048-822-9606  
FAX048-822-9408

#### 自宅事務所

〒350-0015  
埼玉県川越市今泉88-14  
TEL049-236-2566  
FAX048-611-7393